

令和 6 年度 活動報告

1. 令和6年度 運営会議および理事会報告

開催日	会議	場所	審議事項
4月7日(日)	第1回理事会	千葉市民会館	1. 令和6年度千葉県助産師会総会について 2. ホームページについて 3. 令和6年度の会議日程について 4. 電話相談カルテの保存について 5. 電話相談員の人件費について 6. 産後ケアについて 7. 令和5年度収支決算報告および令和6年度予算案
4月28日(日)	第2回理事会 (総会後)	千葉市文化センター	1. 理事・監事・委員・顔合わせ 2. 各部会・委員会・研修会について
6月2日(日)	第1回運営会議	オンライン	第3回理事会運営について
6月9日(日)	第3回理事会	千葉市文化センター	1. 理事会日程・開催方法の変更、菜の花会開催について 2. 日本助産師会理事会報告 3. 第1回都道府県助産師会代表者会議報告 4. 日本助産師会総会報告 5. 千葉県助産師会通常総会 アンケート結果 6. 『大潮』送り先関係諸機関の宛先について 7. 千葉県助産師会の講師派遣依頼の窓口(フォームメーカー)の担当について 8. 子育て・女性の生涯の健康支援事業への助成金について 9. 2025年日本助産師会通常総会 代議員・予備代議員について 10. 委員会の銀行印作成・変更について 11. 100周年記念事業について 12. 研修会報告
8月25日(日)	第2回運営会議	オンライン	第4回理事会運営について
9月15日(日)	第4回理事会	オンライン	1. 南関東地区代表者会議報告 2. 県への要望書について 3. 千葉県周産期医療審議会委員の委嘱について 4. 事務所事務員について 5. 「国際助産師の日のつどい」報告 6. 年賀状について 7. 菜の花会について 8. 助産師業務安全管理評価表について 9. 生と性の健康教育委員会 アクシデントの経緯
10月15日	臨時理事会	メール会議	1. 保健指導部会 母乳育児をテーマにした交流会開催について

開催日	会議	場所	審議事項
11月5日（火）	第3回運営会議	オンライン	第5回理事会運営について
11月17日（日）	第5回理事会	千葉市民会館	1. 県への要望報告 2. 第2回都道府県助産師会代表者会議報告 3. 南関東地区代表者会議報告 4. 南北関東地区会議報告 5. 「助産師業務安全管理評価表」集計結果について 6. 次年度の運営会議・理事会会議予定について 7. 会計監査（中間報告）について 8. ホームページについて 9. 千葉県からの思春期相談事業の委託について 10. 日本子ども虐待防止学会学術集会 実行委員について 11. 講習会・研修会について
令和7年 1月5日（日）	第4回運営会議	オンライン	第6回理事会運営について
1月19日（日）	第6回理事会	オンライン	1. 千葉県からの思春期相談事業の委託について 2. 100周年記念事業委員会報告 3. 会長表彰について 4. 事業報告（スタジオアリスについて） 5. 子育て委員会（転送手数料・謝金・フライヤー等）について 6. 会計事案（子育て委員の協力員の支払い代行・事務員のインク代等）について 7. 総務事案（通常総会）について 8. 大潮の郵送費について 9. 講習会・研修会について
2月16日（木）	第7回理事会	オンライン	1. 令和6年度活動報告および令和7年度事業計画等 2. 令和7年度一般社団法人千葉県助産師会総会開催について 3. 日本助産師会会長表彰について 4. 「国際助産師の日」委員会・令和7年度国際助産師の日のつどいは1地区担当 7月13日流山市 5. スタジオアリスマタニティセミナーについて 6. 会計関連（子育て委員会の電話相談協力費等） 7. 令和7年度新規思春期相談事業プロポーザル応募に関して
3月2日（日）	第5回運営会議	オンライン	予定
3月9日（日）	第8回理事会	千葉市民会館	予定
4月6日（日）	第1回運営会議	オンライン	予定
4月13日（日）	第1回理事会	千葉生涯学習センター	予定
4月27日（日）	第2回理事会（総会后）	千葉文化センター	予定

2. 令和6年度 事業計画の評価

目標	実施計画および具体的内容	成果指標
1. 組織体制を強化し、組織内および各関連機関と連携のとれた組織となる。	1) 定期的に総会・運営会議・理事会・各地区定例会・各部会・各委員会を開催し、組織的に取り組む。 2) 会員相互の連絡・報告が円滑に行われる組織を目指す。 3) 専門部会間の連携を強化する。 4) 定款・細則・規程を見直し、組織運営を効果的なものにする。 5) 日本助産師会と連携して組織運営を行う。 6) 各自治体および関連団体と連携する。	1) 総会：令和6年4月28日（日）に新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後により千葉市文化センターにて3年振りの対面開催をした。 運営会議：6回、理事会：8回 運営会議は基本的にオンライン、理事会はオンラインまたは対面（オンライン併用）開催とした。 地区定例会・部会・委員会を定期的に開催した。 事業計画に則り事業の推進・調整・支援を行った。 2) 大潮を年3回（第44・45・46号）発行した。 ホームページや会員メーリングリストに加えて、部会メーリングリストを用いて、随時会員に情報を発信した。 3) 3部会集会は開催しなかったが、研修会等で部会間の連携および地域と施設で働く会員が情報共有・交流する機会をもった。 4) 前年度改正された定款及び細則に基づき、代表理事等役員の変更・就任手続きをした。 5) 日本助産師会総会に代議員を派遣し、日本助産師会・南北関東地区の代表者会議に参加して協議した。 6) 千葉県と情報共有をして、協力や要望を行った。 各地区を通して、産後ケア等の市町村の事業に協力した。院内助産や産後ケア事業について、自治体に情報提供を行い、連携した。 看護協会主催の助産師交流会等の様々な機会を通して看護協会や医師会等の関連団体と連携した。 災害支援において自治体および関連団体と連携した。
2. 地域で活動する助産師に対し、安全対策への組織的な取り組みを行う。	1) 助産所の質の維持を図る。 2) 事故事例等の報告書を作成し、その組織的な運用を通して母子の安全に努める。 3) 母乳育児支援、産後ケアにおける母子の安全に努める。 4) 保健指導の安全管理指針の策定を推進する。 5) 安全のための講習会の受講を推進する。 6) 日本助産師会賠償責任保険への加入を推進する。 7) 地域の協力機関との連携を図る。	1) 助産所11か所の安全管理評価を実施した。 評価後の改善点を共有した。 2) 助産所部会員のIT利用により転院・搬送報告等を行い、分娩件数統計を行った。事故・搬送・転院事例、ヒヤリハット事例の報告書作成を支援し、事例の検証・検討会を行った。インシデント報告は2件あった。 3) 保健指導部会を中心に安全な母乳育児支援、産後ケアのための情報を共有した。 4) 保健指導開業助産所（来所型）の安全管理指針のサンプルを作成し、BCP作成に向けて検討した。 5) 安全管理研修を年3回開催した。 6) 助産所・保健指導・勤務助産師それぞれに、殊に産後ケア受託に必要な賠償責任保険への加入を推奨した。 7) 産婦人科医会との研修会は企画できなかったが、産婦人科医を講師とした「産科救急の実践」研修会を開催した。随時、地域の産婦人科医と情報交換を行った。

3. 助産および母子保健事業を実施する。	1) 電話無料相談(ミッドワイフ千葉)を継続する。 2) 電話相談における地域との連携を深める 3) コロナ禍を考慮した方法で、「国際助産師の日」のつどいを開催する。 4) 地域と施設の連携の推進を図り、安定した継続母子保健活動を行う。 5) 産後ケアの質の向上を図る。 6) 千葉県及び市町村と連携して母子保健事業を推進する。	1) 相談事業運営を見直し、安定した運営を行うために、6年度の相談日は月・金、時間を見直した。 26名の電話相談員で電話相談を継続し、交流会を開催した。 2) 相談内容に応じて、助産所や他機関と連携した。 3) 令和6年6月22日(日)に「国際助産師の日」のつどい in 木更津 みんなで支えあおう未来の子どもたち」をテーマに、木更津市民総合福祉会館にて「国際助産師の日」のつどいを開催した。 4) 地区活動等に勤務助産師も加わり、連携をとりながら母子保健活動を実施した。 各地区と関連施設が情報交換を行い、連携した。 5) 産後ケア実務助産師研修修了者の充実・普及につなげ、行政と協力して産後ケア事業を実施した。 地域と施設の連携に向けて、産後ケア等の千葉県医療整備課からの調査を行った。産後ケアで活用できる研修会を開催した。 6) 地区理事・担当者とともに、市町村の産後ケア事業の受託及び委託料の値上げを推進した。
4. 助産師のキャリア・アップを支援する。	1) 助産師の継続教育として必要かつ効果的な研修会を開催する。 2) CloCMiP®ラダーⅢの認証および更新を推進する。 3) 各種表彰を推進する。	1) 教育体系に沿って教育計画を立案・実施した。 新型コロナウイルス感染状況に応じて、オンラインの活用や感染対策を考慮した。 2) ラダーⅢの認証および更新に必要な情報を収集し、会員メーリングリスト等で会員に周知した。 ラダーⅢ対応の研修会を開催した。 3) 各種表彰に既定数の候補者を選出し、会を通して表彰の候補者を推薦した。
5. 講師を育成し、健康教育を実施する。	1) 「生と性の健康」の意義・必要性について会員の理解を深める。 2) 「生と性の健康教育」の方略を検討する。	1) 研修・交流会を開催した。研修会の内容をまとめて、ニュースレターを発行した。 2) 各地区の現状について情報交換した。学校では、ほぼコロナ禍以前と同様の講座が開催できるようになった。
6. 災害対策への取り組みを強化する。	1) 災害発生時に対応できる組織を整備する。 2) 日本助産師会や他県の助産師会との連携を強化する。 3) 千葉県や各市町村との連携を強化する。	1) 実災害に応じたシミュレーション訓練を実施した。会員全員への周知は今後の継続課題である。 災害時支援協力員・協力助産院は増加している。 災害時支援マニュアルの読み合わせは意義があった。 2) 日本助産師会や他機関の研修会に参加し、他県の助産師会と情報交換した。 3) 地域の防災訓練に参加し、助産師活動をアピールした。各市町村との災害支援協力を図った。千葉県主催の小児周産期リエゾン講習に参加した。
7. 会員増加と会員同士の交流を図る。	1) 会員の定着により助産師会活動の活性化を図る。 2) 会員同士の交流を図る。	1) 会員の増加を目指し、目標380名のところ、2月16日現在383名で、目標を達成した。 2) 11月17日に対面で菜の花会を開催した。 世代や部会を超えた会員同士の交流となった。
8. 千葉県助産師会の事務所の管理・運営の安定化を図る。	1) 事務所の管理・運営方法を見直す。 2) 事務員の雇用の安定化を図る。	1) 事務所の管理・運営方法を適宜確認した。 事務所内の書類・物品の整備を行った。 事務所移転については引き続き検討していく。 2) 事務員の退職に伴い新規任用(会員)し、勤務日は週1日から2日となった。

3. 地区活動報告

千葉県助産師会地区割り

地区部会名		市町村名					
1	柏・野田・我孫子・流山・松戸地区部会	柏市	野田市	我孫子市	流山市	松戸市	
2	市川・浦安地区部会	市川市	浦安市				
3	船橋地区部会	船橋市					
4	習志野・八千代・鎌ヶ谷地区部会	鎌ヶ谷市	習志野市	八千代市			
5	印旛地区部会	白井市	印西市	佐倉市	成田市	酒々井町	富里市
		栄町	八街市	四街道市			
6	香取・海匝・山武地区部会	銚子市	旭市	匝瑳市	横芝光町	芝山町	東庄町
		東金市	山武市	多古町	神崎町	香取市	
		大網白里市		九十九里町			
7	千葉地区部会	千葉市					
8	長生・夷隅地区部会	茂原市	白子町	長生村	一宮町	長南町	睦沢町
		勝浦市	いすみ市	大多喜町	御宿町	長柄町	
9	市原・君津・安房地区部会	市原市	木更津市	君津市	富津市	袖ヶ浦市	鴨川市
		館山市	南房総市	鋸南町			

令和6年度 第1地区 活動報告 No.1

地区名：柏・野田・我孫子・流山・松戸地区

地区部会長：小林 由美子 会員数：71名

1. 定例会開催 年7回

2. 研修会

開催日	内容	講師
1月31日	ツボと経絡の勉強会	森田 広恵氏

3. 行政および関連団体等の会議参加状況は○ページを参照。

4. 行政への協力事業

内容	協力人数	内容	協力人数
柏市新生児訪問	15名	松戸市新生児・乳児全戸訪問	2名
柏市こんにちは赤ちゃん訪問	1名	松戸市産後ケア ケア従事者	6名
柏市 育児相談専用ダイヤル	1名	松戸市産後ケア コーディネーター	1名
柏市産後ケア ケア従事者	12名	松戸市教育委員会就学相談心理相談員	1名
柏市産後ケア コーディネーター	1名	野田市新生児訪問	2名
流山市新生児訪問	6名	野田市産後ケア ケア従事者	4名
流山市乳児全戸訪問	1名	野田市産後ケア コーディネーター	1名
流山市妊娠出産子育てサポート事業	3名	我孫子市ウェルカムベビー学級	10名
流山市ハローベビー（両親学級）事業	2名	我孫子市利用者支援事業	2名
流山市産後ケア事業ケア受託者	2名	我孫子市4ヶ月児相談	1名
流山市「子育てママのセミナー」事業	2名	我孫子市新生児・乳児全戸訪問	2名
流山市双子両親学級ウェルカムベビーなつつ	3名	千葉県不妊不育オンライン相談事業選考委員会	1名

5. 健康教育・講演活動（生と性の健康教育）

対象	回数	講師（実数）
小学生	59回	4名
中学生	36回	3名
高校生	2回	1名
特別支援学校	3回	1名
保護者・PTA・その他	4回	2名

6. 地区助産師活動

松戸市：親子DE広場（相談・講座）、松戸市子育てフェスティバル2024参加・2025実行委員会

流山市：NPO法人なこっこ事業協力（新米ママ講座）、南流山児童センターすこやか広場（講座）、

子育て支援センターてるてる（講座）、エンカナルプロジェクト（えか自然農場活動参加）、

親子サロンBLOOM（講座）、fleurir流山（講座）、南流山子ども食堂（講座）

我孫子市：Babyのびのび親子学級（我孫子市公民館）

柏市：はぐはぐフォーラム2024参加・2025協力、さわやかサービス産前産後研修、

市民健康づくり推進員連絡協議会全体研修会講師

令和6年度 第1地区 活動報告 No.2

定例会開催：7回

目標	事業	結果および評価
1. 会員 同士の結 束を図 り、お互 いの知識 や技術の 向上を図 る	1) 定例会の開催 2) 研修会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインを中心に会員との繋がりを保った。 6名の新規入会者がおり、今後もっと繋がりを深めていくことが課題。 ・7年度の国際助産師の日のイベントについての打ちあわせが多かったため、最新情報の伝達や研修会報告などをもっと増やしていきたい。 ・地区会員の興味を持てる内容での研修会を開催し、好評であった。
2. 地域に 密着し た、助産 師ができ る保健活 動を行う	1) 子育て・女性の健康支援 2) 我孫子市ウェルカムベビー学級 3) 産後ケア 4) 他職種連携	<ul style="list-style-type: none"> ・会員各自が、活発に活動した。 ・松戸市子育てフェスティバル2024、はぐはぐフォーラム2024に参加した。 ・子育て女性支援団体へ協力した。 ・円滑な運営のための我孫子市との連絡・調整・情報交換をし、スムーズな運営がなされた。 ・委託された市との連絡を取り、会議を行い良いケアを提供した。 ・地区として他職種への講師を依頼、個人の活動でも積極的に連携を図った。
3. 健康教 育を充実 させる	1) 性の健康教育事业	<ul style="list-style-type: none"> ・依頼先への講師派遣・連絡調整し実施した。 ・実施後の報告、統計をまとめた。 ・教材管理をした。 ・意見交換をした。 ・性の健康教育の研修会へ各自参加した。 ・講座の開催予定を公開し、見学を募集した。
4. 災害に 備え、母 子の災害 時支援を する。	1) 災害対策 2) 災害時母子支援	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策についての研修会に出た。 ・松戸市の防災訓練や流山市の防災イベントに参加した。 ・松戸市・柏市と協定内容等について再確認する話し合いの場を持った。 ・能登半島地震の際、迅速に救援金を集め、千葉県助産師会に託した。

令和 6 年度 第 2 地区 活動報告 No. 1

地区名：市川・浦安地区

地区部会長：塩見良子

会員数：40名

1. 定例会開催 年 6 回

2. 研修会

開催日	内容	講師
1 月 12 日	SNS と性被害支援	櫻井 鼓氏

3. 行政および関連団体等の会議参加状況は〇ページを参照。

4. 行政への協力事業

内容	協力人数	内容	協力人数
浦安市助産師相談	6 名	市川市産後ケア事業	4 名
浦安市子育て支援(6 か所)	10 名	浦安市養育支援訪問事業	1 名
浦安市特別支援学校性教育講師	1 名	浦安市社会福祉協議会評議員	1 名
市川市母子保健推進協議委員	1 名	市川市 STD 対策推進協議会委員	1 名
浦安市ファミリーサポート基礎研修講師	4 名	災害時小児周産期リエゾン	1 名

5. 健康教育・講演活動（生と性の健康教育）（期間 2024 年 1 月～12 月）

対象	回数	講師（実数）
小学校	27 回	5 名
中学校	17 回	5 名
特別支援学校	4 回	2 名
専門職・教員	0 回	0 名
保護者・社会人	3 回	1 名

6. 地区助産師活動

- ・浦安市産後ケア会議(8 月 27 日)
- ・浦安市防災会議(2 月 25 日)
- ・その他各種会議

7. その他

- ・市川市 90 周年記念式典感謝状贈呈(11 月 3 日)

令和6年度 第2地区 活動報告 No.2

定例会開催：6回

目標	事業	結果および評価
1. 会員同士の結束を図り、知識技術の向上を目指す。	1) 定例会開催 2) 研修会開催 3) 地区会員の地区会や地区活動の見学や参加への働きかけ 4) 会員の増員を図る	・2か月毎の定例会の開催はZOOMを併用し、参加しやすいよう工夫した。新しい会員と顔の見える関係づくりに努めた。 ・「SNSと性被害支援」の研修会を行い、新しい学びとなった。 ・情報共有(症例検討)と伝達講習を行った ・地区会や地区活動前にLINEやメールにて参加呼びかけを行い、欠席者には議事録をメール・郵送をした。 ・会員の働きかけにより新規会員が増員
2. 地域・所属を超えたネットワークの構築	1) 社会福祉協議会との連携 ・研修会講師としての参加 2) 他職種との交流・連携を深める ・STD対策推進協議会 ・母子保健推進協議会	・社会福祉協議会評議員として1名参加している。 ・ファミリーサポートセンター基礎研修講師として4名参加 ・子育て支援事業・性教育講師として参加 ・市川市STD対策推進協議会に1名参加 ・母子保健推進協議会に1名参加 ・他職種との情報交換を積極的に行い、協力して母子支援を行っている。
3. 地域に密着した母子保健活動を積極的に行う	1) 地域子育て支援事業への協力 2) 行政の母子保健事業に協力する ・浦安市こども家庭支援センター ・浦安市健康増進課 ・市川市産後ケア事業 3) 健康教育・講演会への講師派遣 ・健康教育	・例年通り、公民館と連携して子育て支援事業を行なった。 ・健康教育の質の向上のため個人で研修会に参加した。 ・講師ができる人材を育成中。
4. 本部・千葉県助産師会事業への参加・協力	1) 「助産師の無料電話相談」に協力 2) 研修会の参加協力 3) 国際助産師の日の参加・協力	・電話相談員として2名参加 ・部会を超えた研修会へ参加した ・地区紹介資料作成等による参加
5. 災害に備える	1) 浦安市との災害協定継続 2) 災害時迅速な対応ができる準備 3) 他職種との防災連携	・浦安市との協定書の見直しを行った ・連絡網の見直しと会員の安否確認をした。 ・自治体等と連携して災害時に母子福祉避難所の開設を目指す

令和6年度 第3地区 活動報告 No.1

地区名：船橋地区

地区部会長：伊藤志保

会員数：38名

1. 定例会開催 年5回

2. 研修会

開催日	内容	講師
6月15日	パパコミュニティに学ぶパパの育児事情	高橋 利明氏
12月8日	ベビーの発達と今すぐ出来る簡単ケア	大牟田 香穂里氏

3. 行政および関連団体等の会議参加状況は○ページを参照。

4. 行政への協力事業

内容【船橋市】	協力人数	内容	協力人数
4か月児健康相談	12名	鎌ヶ谷市4か月児健康相談	1名
1歳6か月児健診	10名	鎌ヶ谷市ウェルカムベビースクール	2名
3歳児健診	9名	鎌ヶ谷市産婦・新生児訪問	2名
養育支援家庭訪問	5名	鎌ヶ谷市産後ケア事業	3名
不妊不育専門相談	2名	市川市産後ケア事業	3名
パパママ教室	9名	習志野市産後ケア事業	2名
妊産婦・新生児訪問	12名	印西市産後ケア事業	1名
産前産後サポート事業	9名		
産婦健診事業	4名		
産後ケア事業	11名		
子育て支援事業 (公民館・児童ホーム)	4名		

5. 健康教育・講演活動（生と性の健康教育）（期間2024年1月～12月）

対象	回数	講師（実数）
小学生	1回	1名
中学生	56回	3名
高校生	1回	1名
保護者	1回	2名

6. 地区助産師活動

10月20日 「子育て応援メッセ2024inふなばし」に参加

11月3日 「ふなばし健康まつり」に参加

7. その他

1月20日 船橋市地域保健課と災害時対応についての話し合い

定例会開催：5回

目標	事業	結果および評価
1. 会員同士の結束を図り、お互いの知識や技術の向上をめざす。	1) 定例会の開催 (1) 理事会報告等の連絡 (2) 研修会の開催 2) 地区会員増加への取り組み (1) 地区便りの発行、配布 3) 講師の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会はすべて対面で行い、交流を図った。 ・新入会員2名 ・研修会を2回開催した。パパママ教室や訪問時にすぐに活かせる内容で、好評であった。 ・地区便りを発行し、親睦に努めた。 ・他地区会員の協力を得て、講師の育成に取り組んだ。
2. 地域に根ざした母子保健活動を行う。	1) 行政の母子保健事業に協力 2) 健康教育・講演会に講師を派遣し、地域の子育て支援に協力	<ul style="list-style-type: none"> ・例年通り、母子保健事業に協力した。事業の内容や体制が変更される中、担当者と連絡を取りながら臨機応変に対応することができた。 ・産後ケア事業は需要が増えている。担当者や従事者同士の連携をはかり、引き続き協力していきたい。 ・中学校・高校の健康教育に講師を派遣した。 ・子育てイベントや児童ホームでベビーマッサージやヨガを行い、地域の子育て支援事業に協力した。
3. 災害に備える。	1) 災害時に落ち着いて行動できる体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会が実施する災害時シミュレーション訓練に参加した。災害時の連絡方法としてグループLINEを作成し、返信率は95%であった。今後も、顔の見える関係を心がけていきたい。 ・担当課と話し合いの場を持ち、災害時の対応や助産師ができる支援について確認した。 ・今後も定期的に話し合いを持ちたい。
4. 千葉県助産師会が行う事業への参加協力をを行う。	1) 「助産師の電話無料相談」に協力 2) 研修会への参加 3) イベントや事業への協力	<ul style="list-style-type: none"> ・「助産師の電話無料相談」に2名協力した。 ・部会を超えて研修に参加した。 ・「国際助産師の日のつどい」チラシ配布

地区名：習志野・八千代・鎌ヶ谷地区

地区部会長：金子みゆき

会員数：32名

1. 定例会開催 年8回

2. 研修会

開催日	内容	講師
5月18日	みなさんに聞く産後ケア訪問時の対応・マナー	産後ケア実施者
6月15日	勤務先の病院ってどんな病院？	勤務部会員
9月28日	妊娠・出産・産後における妊産婦等の支援等に関する検討会（伝達）	上野 典子

3. 行政および関連団体等の会議参加状況は○ページを参照。

4. 行政への協力事業

内容	協力人数	内容	協力人数
八千代市ハローベビークラス	2名	習志野市幼児家庭教育学級	1名
八千代市公民館育児講座	1名	習志野市PTA家庭教育学級	3名
八千代市産後ケア事業	10名	習志野市育児講座	1名
習志野市産後ケア事業	10名	船橋市家庭教育セミナー	3名
鎌ヶ谷市産後ケア事業	11名	船橋市公民館	1名

5. 健康教育・講演活動（生と性の健康教育）（期間 2024年1月～12月）

対象	回数	講師（実数）
就学前	3回	2名
小学生	65回	4名
中学生	9回	1名
高校生	6回	1名
PTA 保護者	14回	2名
公民館	9回	2名
その他（フリースクール等）	11回	1名
専門職	2回	1名
チャイルドライン相談員養成講座	1回	1名

6. 地区助産師活動

スタジオアリスマタニティセミナー、アウトリーチ型産後ケア事業（八千代・習志野・鎌ヶ谷）
 習志野保健所母子保健推進協議会会議、習志野市防災訓練参加・防災会議、
 八千代市思春期ネットワーク会議、八千代市健康まちづくりプラン推進・評価委員会会議、
 習志野市社会教育委員

7. その他

- ・習志野市へアウトリーチ型産後ケア委託料金見直しについて要望書提出（10/21）
- ・八千代市産後健診補助金について要望書提出（8/26）

令和6年度 第4地区 活動報告 No. 2

定例会開催：9回 臨時会議：1回

目標	事業	結果および評価
1. 会員 同士の交 流を図 り、お互 いの知識 や技術の 向上に務 める	1) 定例会の開催 3) 地区会員の定例会への 参加を働きかける 3) 研修会の開催 4) 地域関係機関と交流	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会はオンライン7回、対面2回行う ・定例会開催連絡、議事録送る ・年度初めに年間開催日を伝える ・定例会でミニ研修会開催し活発な意見交換 ができた。 ・開催できず
2. 地域 に密着し た母子保 健・健康 支援活動 を行う	1) 子育て支援 2) 行政の事業に協力 (1) プレママ教室 (2) 母子保健会議 3) 産後ケア事業 4) その他	<ul style="list-style-type: none"> ・会員各自が各々地域にて行う。 ・公民館、小中学校にて健康講座の実施。 ・八千代市ハローベビー教室、年8回、各2 講座開催 ・習志野母子保健推進協議会に委員として1 名参加 ・習志野・八千代・鎌ヶ谷市訪問型産後ケア 事業実施（鎌ヶ谷市は2地区から2名協力 あり） ・各市で話し合いを行なう。 ・習志野市へ料金見直し要望する ・インシデント対応の話し合いを行なった。 ・八千代市健康まちづくりプラン推進評価委 員会に委員として1名参加 ・船橋市家庭教育セミナーに協力
3. 健康 教育活動 の充実	1) 「生と性の健康講座」開 催	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に講座内容検討会議を開催。 ・各自で知識の向上に努める。 ・講師育成 ・講座依頼増加。 ・八千代市思春期ネットワーク会議参加
4. 災害 に備える 体制を整 える	1) 災害時速やかに行動で きるための準備 4) 災害時、行政と連携し 支援活動ができる体制づ くり	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県災害シミュレーション訓練の参加 ・協力員11名 ・千葉県九都県市災害訓練参加 ・習志野市防災訓練参加・会議出席
5. 千葉 県助産師 会事業の 参加	1) 助産師による電話無料 相談協力 2) スタジオアリスマタニ ティセミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・相談協力員1名 ・電話相談員として研鑽する ・協力員5名へ増員 ・12件の依頼中2件実施。

地区名：印旛地区

地区部会長：根本由起子

会員数：49名

1. 定例会開催 年4回 ・ 役員会 年5回

2. 研修会

開催日	内容	講師
8月10日	あびこ助産院 study バスツアー（骨盤ケア）	米丸充咲氏

3. 行政および関連団体等の会議参加状況は○ページを参照。

4. 行政への協力事業

内容	協力人数	内容	協力人数
佐倉市産後ケア事業	5名	酒々井町産後ケア事業	3名
四街道市産後ケア事業	3名	酒々井町マタニティ教室	2名
印西市産後ケア事業	3名	佐倉市防災訓練	4名
八街市産後ケア事業	2名	印西市防災訓練	4名
成田市産後ケア事業・訪問事業	5名	成田市防災訓練	5名
成田市母親学級・パパママクラス	3名	白井市防災訓練	4名
成田市健康・福祉まつり	10名		

5. 健康教育・講演活動（生と性の健康教育）（期間 2023 年 1 月～12 月）

対象	回数	講師（実数）
小学生	11回	5名
中学生	22回	6名
高校生	2回	2名
PTA 保護者	1回	1名

6. 地区助産師活動

- ・スタジオアリスマタニティセミナー
- ・四街道市 訪問事業、乳児健診、マタニティケア、中学校性教育
- ・八街市 訪問事業、マタニティ教室
- ・栄町 産後ケア事業、訪問事業
- ・富里市 訪問事業、プレパパママ教室、産前&産後ママヨガ・ベビーヨガ
- ・多古町 通所型産後ケア
- ・茨城県行方市 通所型産後ケア
- ・白井市 プレパパママスクール
- ・市川市 プレ親学級、YouTube 講座
- ・睦沢町 母親教室、女性のためのヨガ講座、ベビーマッサージ and ママヨガ教室
- ・長生村 ママパパ教室、産後のベビー&ママヨガ教室、
- ・長南町 産後のママ and ベビーマッサージ教室
- ・柏市 たまご学級

定例会開催：4回

目標	事業	結果および評価
1. 会員の交流を図り知識・技術の向上に努める	1) 定例会の開催 2) 地区研修の企画開催 3) 会員の増加 4) 日本助産師会会員として協力 5) 千葉県助産師会会員として協力	・定例会の開催（7月10月1月3月） ・地区研修会はコロナ禍で行えなかったイベントを企画し実施（8月10日：あびこ助産院 study バスツアー骨盤ケア）参加11名充実した会となった。
2. 地域に密着した保健活動を行う	1) 保健センター及び関係機関の事業協力 2) 地域の健康福祉事業への協力 4) こんにちは赤ちゃん事業	・市の母親教室等への講師派遣、新生児訪問、こんにちは赤ちゃん事業等行政と契約し実施 ・産後ケア事業の受託及び実施：佐倉市、四街道市、成田市、八街市、印西市、酒々井町 ・成田市健康・福祉まつりにてベビーマッサージを実施
3. 思春期講話の充実を図る	1) 講師のスキルアップ 2) 認定者の育成 3) 講演会の講師派遣	・小中高校36校へ講師を派遣 ・今後も講師を育成していく必要がある
4. 千葉県助産師会事業への参加・協力を行う	1) 県研修会・イベントへの参加	・県研修会へ各自参加 ・スタジオアリスマタニティセミナーへ協力（今年度予定7回 実施1回） ・「国際助産師の日」へ参加 ・電話相談協力員は今年度なし
5. 地区部会の運営の円滑化を図る	1) 地区会員へのスムーズな連絡 2) 地区部会運営の参加 3) 役員の役割調整 4) 佐倉市・成田市・八街市・印西市 災害協定 5) 災害対策	・役員で協力し、活動の円滑化を図った。 ・新たに白井市との災害協定を締結 ・地域の防災訓練へ参加 10/13 佐倉市、10/27 印西市、11/30 成田市、2/2 白井市（2/16 八街市への参加はなし）

令和 6 年度 第 6 地区 活動報告 No. 1

地区名：香取・海匠・山武・長生・夷隅地区 地区部会長：白倉美智子 会員数：23 名

1. 定例会開催 年 4 回

地区交流会 1 回

2. 研修会 開催なし

3. 行政および関連団体等の会議参加状況は○ページを参照。

4. 行政への協力事業

内容	協力人数	内容	協力人数
九十九里町こんにちは赤ちゃん訪問	1 名	東金市子育てサークル（ベビーマッサージ）	1 名
九十九里町産後ケア	2 名	東金市多胎家庭サロン	1 名
大網白里市産後ケア	3 名	東金市母親学級	1 名
茂原市新生児訪問	4 名	東金市産後ケア	2 名
茂原市産後ケア	4 名	山武市両親学級	2 名
一宮町産後ケア	2 名	山武市新生児訪問	2 名
白子町母親学級	1 名	山武市産後ケア	2 名
白子町産後ケア	1 名	横芝光町産後ケア	1 名
長生村産後ケア	2 名	睦沢町両親学級	1 名
長南町産後ケア	2 名	睦沢町新生児訪問	1 名
いすみ市産後ケア	2 名	睦沢町産後ケア	2 名
長柄町産後ケア	2 名		

5. 健康教育・講演活動（生と性の健康教育）（期間 2023 年 1 月～12 月）

対象	回数	講師（実数）
小学生	7 回	3 名
中学生	4 回	3 名
高校生	1 回	1 名
PTA・保護者	1 回	1 名

6. 地区助産師活動

- ・産後ケア事業実績報告会及び情報交換会（茂原市）10 月 4 日
- ・スタジオアリスマタニティセミナー
- ・九都県市合同防災訓練（いすみ市）10 月 20 日 2 名参加
- ・災害協定締結市町への挨拶・内容確認（東金市・山武市）

定例会開催：年4回

目標	事業	結果および評価
1. 会員 同士の交 流を図 り、知識 や技術の 向上に努 める	1) 定例会の開催 2) 地区研修会の開催 3) 会員の地区会参加への働きかけ 4) 地区会員増員への働きかけ 5) 健康教育の講師育成	1) 定例会は3回がZoomでの開催となった。 対面開催を強く希望する声も聞かれ、会員間の繋がり意識のためにも対面開催を増やす必要がある。 2) 地区研修会は開催に至らなかった。 ・12/15 地区会員の交流会を開催した。 ・連絡事項等はメール・LINEを主に利用し場合により電話・郵送にて伝達した。 3) 会員の地区活動参加と会員増員への働きかけ方法は引き続き検討し計画する。 4) 非会員への研修会のお知らせまでには至らなかった。 5) 健康教育に関する講演見学、意見交換等により講師の増員に努めたが増員には至っていない
2. 地域 に密着し た母子保 健活動を行 い、地域 との連携 に努める	1) 行政母子保健事業への協力 2) 城西国際大学祭の参加 (許可のあった場合) 3) 健康教育・講演会への講師派遣	1) 両親学級・新生児訪問・産後ケアなど市への協力実施 2) 大学祭への参加なし 3) 依頼を受け講師派遣実施
3. 県助産 師会事業 への参 加・協力 を行う	1) 電話相談事業に協力 2) スタジオアリスマタニティセミナー協力 3) 国際助産師の日イベントへの協力	1) 2名が電話相談員として協力した 2) 4件のスタジオアリスマタニティセミナーのうち開催1回 3) 担当地区の計画に則り地区紹介用スライドを提出
4. 災害 対策を整 える	1) 災害時の対応について検討 2) 災害訓練への参加	1) 災害協定を締結している東金市・山武市に挨拶訪問実施し連携強化を図ると共に協定内容の確認・見直しを行った。(山武市については令和7年4月1日から協定内容が変更) 2) 災害訓練時、地区会員へはグループLINEとメール(一部電話)にて安否確認と情報収集を実施。 ・九都県市合同防災訓練(いすみ市)に参加

地区名：千葉地区

地区理事：菅谷厚子

会員数：45 名

1. 定例会開催 年 12 回

2. 研修会

開催日	内容	講師
8月28日	「父親の周産期メンタルヘルス～まずは状況とエビデンスの確認から～」	村上寛氏
11月25日	「乳幼児の発達について～ちょっと気になる子ども達をどのように捉えどの様に関われば良いか～」	井出みどり氏
1月23日	無精子症の患者夫婦の希望する支援～アンケート調査及び支援の実際から感じる事	当事者支援会
2月12日	「産前産後の女性への支援」「赤ちゃんをみるポイント」	佐山圭子氏
3月24日	「生殖補助医療における胚培養士の役割～仕事の実際と胚培養士の現状と課題～」	嶋田孝紀氏
定例会にて ミニ学習 症例検討会 など	6/12「個人情報管理」12/10「エビデンスに基づく助産ガイドライン2020」抄読会	
	7/9「産後ケアで児の異常に遭遇したケース」	平良奈美氏
	9/10「胎児期からの子育て・1,000日の食事」	渡辺佐智子氏
	11/6 産後メンタル不調のご本人と家族の支援	新森永遠路
	2/4「子育てを大切にする社会の実現～第20回国際助産師の日講話から」	川島広江氏
	3/11「国際セクシュアリティ教育ガイダンスから“家族”を考える」	川島広江氏

3. 行政および関連団体等の会議参加状況は○ページを参照。

4. 行政への協力事業

内容	協力人数	内容	協力人数
土日両親学級	14名	不妊専門相談（面談）	2名
母親＆父親学級（平日）	17名	不妊専門相談（電話）	3名
母乳教室	13名	思春期保健事業	2名
女性の健康相談	7名	新生児・妊産婦訪問指導員	10名
産後ケア事業（委託助産院）	15名	包括支援センター相談員	2名
女性のためのつながりサポート事業	4名		

5. 健康教育・講演活動（生と性の健康教育）（期間 2023 年 1 月～12 月）

対象	回数	講師（実数）
小学校	28回	4名
中学校	45回	2名
高等学校	1回	1名
保護者・社会人・他	23回	1名
千葉市助産師会主催	7回	6名

6. 地区助産師活動

- ・いのちの講座「親・支援者が学ぶ子どもの性教育」5/11 19時～21時 LIVE24名録画 58名
「小さいころから考えたい“いのち”を守り育むセクシュアリティ」川島広江氏
- ・赤ちゃんのお世話練習大会 募集6組 6/15 8/10 10/26 12/21 2/15
- ・健やか未来都市ちばプラン市民健康づくり大会 参加 10/19
- ・周産期メンタルヘルスセミナー：9/27 3/7 木村病院との協働開催

7. その他 ・千葉市救護所開設・運営訓練の見学 8/28

定例会開催：12回

目標	事業	結果および評価
1. 母子保健知識の普及・生命の大切さの普及・女性の健康支援を行う	1) 土日両親学級（千葉市委託事業） 2) 不妊専門相談事業〔電話相談〕（千葉市委託事業） 3) 「いのちの講座」開催 4) 妊娠期準備クラス 5) オンライン事業 6) 千葉市母子保健事業 7) 関連施設との連携 8) 千葉市のイベント参加 9) 千葉県助産師会事業 10) 子育て委員会担当	<ul style="list-style-type: none"> ・18回開催（第1回：12回 第2回：6回）第2回はキャンセル待ち受付を設定した。 ・毎週木曜日 15:30～20:30 年間48回の電話相談を3名で担当した。研修会を開催した。 ・公開講座、親子で学ぶ講座Ⅰ（4回）親子で学ぶ講座Ⅱ（2回）大人が学ぶ講座（1回）開催 ・小学校の依頼により出張講座を行った。 ・「赤ちゃんのお世話練習大会」を定期開催 ・温♡line 講座“親になるクラス”を配信した。 ・各事業へ講師及び相談員を推薦した。 ・母親学級46回・母乳教室26回・女性の健康相談36回・不妊専門相談〔面談〕15回・女性のための相談会4回・思春期保健事業 ・千葉市産後ケアに委託助産院15名が協力した。 （訪問型・日帰り型・宿泊型） ・産科1施設の産褥2週間健診訪問を6名で担当した。 ・精神科1施設と連携し妊産婦の訪問要請に応えた。月1回カンファレンスを開催した。 ・市民健康づくり大会に6名が参加協力した。 ・電話無料相談員（7名）スタジオアリスマタニティセミナー講師（8名） ・助産師の電話無料相談の運営を行った。
2. 助産師の知識・技術を高める	1) 研修会の開催 2) 事例検討会・学習会開催 3) 学生実習協力	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉市母子保健事業業務委託研修会を3回開催した。 ・定例会を活用し、事例検討会、ミニ学習会、抄読会を行い会員の知識を深めた。 ・東京情報大学看護学部実習に7名協力した。 ・淑徳大学看護栄養学部看護学科実習に2名協力した。
3. 組織を強化し、運営を円滑に行う	1) 運営に関する会議 2) 助産師活動の広報 3) 会員の増加を目指す 4) 災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・総会を6月に開催・定例会を毎月開催し会員に議事録を配布。会員LINEにて情報共有した。 ・ホームページの更新、Instagramの活用、リーフレットを改訂し配布した。 ・千葉市健康危機管理課災害医療班と災害対応の話し合いをした。

令和6年度 第9地区 活動報告 No.1

地区名：市原・君津・安房地区

地区部会長：小柴和子

会員数：42名

1. 定例会開催 年5回

2. 研修会

開催日	内容	講師
1月14日	災害時マニュアルの読み合わせ	志賀 祥子

3. 行政および関連団体等の会議参加状況は○ページを参照。

4. 行政への協力事業

内容	協力人数	内容	協力人数
新生児訪問	8名	母親・パパママ教室	2名
乳幼児健診・相談	4名	ベビーマッサージ	0名
妊娠・出産・子育てサポート事業	2名	九都県市合同防災訓練	5名
産後ケア従事者	19名		

5. 健康教育・講演活動（生と性の健康教育）（期間 2024年1月～12月）

対象	回数	講師（実数）
小学校	9回	4名
中学校	7回	2名
高校	2回	2名
大学	1回	1名
PTA・保護者	2回	1名
養護施設	0回	0名
社会人	1回	1名
教員	2回	2名
公民館・女性センターなど	1回	1名

6. 地区助産師活動

- ・国際助産師の日の集い開催（6月22日 木更津市と共催）
- ・九都県市防災訓練参加（10月20日）
- ・周産期保健に関する連絡（調整会議11月25日）
- ・市原市：母子保健推進協議会（2月8日）、
いちほら健幸まちづくりプランすこやか親子ワークショップ（7月3日）
総合防災訓練（11月3日 悪天候で中止）健康づくり推進協議会（11月13日）
- ・君津地域：母子保健推進協議会（君津保健所、君津保健福祉センター）
- ・安房地域：母子保健推進協議会（安房地域保健福祉センター）

定例会開催：5回

目標	事業	結果および評価
1. 会員同士の交流を図り、お互いの知識や技術の向上に努める	1) 定例会、研修会の開催 2) 会員増加を図る 3) 各会員の活動状況を紹介し理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・総会は、君津市生涯学習センターにて対面開催。新入会3名、退会2名（理由：他地区への移動、一身上の都合） ・国際助産師の日の集い準備のため、定例会以外にも会員同士が直接意見交換を行う機会を設けた。会議は積極的な意見交換の場となり、会員の関与度が向上した。 ・定例会はZOOMも活用し、遠距離の会員も参加可能な環境にした。活動報告や事例紹介を行い、議事録を全員に配布。また、LINEグループも活用。今後もこの形式を継続、発展予定。
2. 地域に密着した母子保健活動・健康支援活動を行う	1) 各地区の母子保健事業に協力する 2) 各地域の産後ケア事業連絡協議会と連携・協力する 3) 健康教育活動に協力する 4) 各地域の市民祭りに参加協力する 5) 各地域の母子保健推進や周産期の委員を務める	<ul style="list-style-type: none"> ・産後ケア従事者について以下2点を確認。（保険加入状況確認、担当業務地区の内容把握）適切な環境で活動できているかを評価し、必要なサポート体制の検討を進めた。 ・6名の健康教育講師が、地域内の延べ25カ所、2340人への講座を開催。家庭科教員研修の依頼も受け、高評価だった。 ・今後は活動範囲の拡大や地域住民のニーズに応じた新たなプログラム開発を検討。
3. 支援事業への参加	1) 会員の協力を得て、事業への参加・協力を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・助産師の電話無料相談（ミッドワイフ千葉）に9名が協力し、22回担当した。 ・国際助産師の日の集いでは午前ハンドマッサージや相談事業等、午後は川島広江氏による基調講演（YouTube動画でも配信）と座談会を実施。助産師の役割や重要性に対する理解を深めると共に、地域の啓発活動を促進した。 ・スタジオアリスマタニティセミナーにおいて、4店舗で計3名が講師を担当。妊婦の方々に直接指導し、健康の促進に寄与した。
4. 災害に備え、体制を整える	1) 災害時迅速に対応できる災害対策づくり 2) 災害訓練の参加	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時マニュアルの読み合わせを実施し理解を深めた。 ・11月18日助産師会災害時初動シミュレーション訓練を実施し会員間の連携体制を確認 ・オンライン訓練やワークショップ等を通して、災害対応力のさらなる向上を図る。

4. 専門部会報告

1) 助産所部会

2) 保健指導部会

3) 勤務助産師部会

令和6年度 助産所部会 活動報告

部会長 米丸 充咲

委 員 田中 弘美、小柴 和子

1. 部会開催状況

開催日	議題	内容	出席委員名
5月22日(水)	安全評価訪問①	・助産院ねむねむ・キミツナカノ助産院	米丸、的場
5月30日(木)	研修会開催	・「フリースタイル分娩」 講師：小柴和子 ・「骨盤ケア初級編」 講師：米丸充咲	米丸、小柴
6月6日(木)	安全評価訪問②	・みらい助産院・あびこ助産院	米丸、的場、佐藤
6月26日(水) Zoom	1、安全評価訪問 2、安全評価C評価 3、安全研修の内容について 4、助産所部会研修報告	・訪問報告と訪問日の打ち合わせ ・必要な医療機器設備の確認 ・助産所開業マニュアル参照 ・研修後のアンケート報告	米丸、田中、小柴、 的場、武田、菅谷、 根岸、進藤、巻田、 的射場、小林
7月1日(月)	安全評価訪問③	・ひまわり助産院・若草助産院	米丸、的場
7月19日(金)	安全評価訪問④	・ゆい助産院	米丸、的場
7月31日(水) Zoom	安全評価訪問⑤	・助産院アロマバース	米丸、清水
8月28日(水)	安全評価訪問⑥	・八千代マタニティセンター武田助産院 ・さくら咲く助産院 ・出張専門助産所菅谷	米丸、的場、田中、
8月28日(水) Zoom＋武田助産院にて	1、安全評価訪問 2、「1%の風景」上映会について 3、助産所ポータルサイト 4、出産に係る調査研究について	・助産所訪問終了報告 ・2月23日予定、助産所部会主催 ・ユーザー登録、マイナ資格アプリのアップデートを行う ・分娩費用の保険化に向けた調査に協力し、説明会の参加に出席する	米丸、的場、田中 武田 Zoom参加：小柴、 進藤、正林、根岸
10月23日(水) Zoom	1、安全評価訪問 2、安全研修 3、インシデントアクシデント報告 4、「1%の風景」上映会について	・評価訪問の集計結果について ・安全研修に年2回以上出席 ・産後ケアの個人情報の取り扱いについての確認 ・企画案の確認	米丸、小柴、的場、 武田、菅谷、根岸、 進藤、巻田、的射 場、正林
12月11日(水) Zoom	1、安全研修 2、「1%の風景」上映会	・安全研修と部会の出席確認 ・上映会の具体的な流れの確認と役割分担などの打ち合わせ	米丸、田中、小柴、 的場、武田、菅谷、 根岸、進藤、巻田、 的射場

2月23日（土） 対面	1、「1%の風景」上映 会の反省 2、来年度について	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート集計と収支報告 ・役員の確認 ・部会、研修会の日程の確認 ・安全評価訪問の確認 	米丸、田中、小柴、 的場、武田、菅谷、 根岸、進藤、巻田、 的射場、小林
----------------	----------------------------------	--	---

2. 令和6年度 部会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
1. 助産所ガイドラインを遵守した安全な助産所運営と質の向上に取り組む。	1) 分娩を扱う助産所の評価訪問は安全対策委委員1名を含む2名以上で行う。 2) 安全管理評価表を年度末に報告する。	1) 分娩を取り扱う11助産所の評価訪問を安全対策委員と共にできた。うち1件はZoomによる評価訪問を行うことができた。 2) 嘱託医との契約が書面であり、特に異常時の手順、フローチャートが示してあり連携がとれていた。 3) 安全管理・感染管理・防災管理マニュアルがまとめられていた。 4) 医療機器の点検、備品の補充等を確認できた。
2. ヒヤリハット、インシデント・アクシデント報告を促し、安全な助産所運営と質の向上に取り組む。	1) 定例会にて、グッチョブ、ヒヤリハット、インシデント・アクシデント報告を共有し安全検討を行う。 2) 安全対策委員会と協力し、インシデント・アクシデント報告を集計する。 3) 分娩件数を年度末に報告する。	1) 産後ケアの情報管理について考え、特に問題になる重大報告はなく安全に助産活動ができた。 2) 安全管理対策委員の方ではほぼインシデント・アクシデント報告を確認し、報告するような事はなかった。 3) 助産所分娩66件、自宅分娩10件、合計76件
3. 助産所の存在と自然分娩の周知を目指す。 4. 助産院の開業を目指す助産師の研修を開催し、助産所部会員の増加を目指す。	1) 対面での研修会を企画する。 2) 分娩室でのリラクゼーションとフリースタイル分娩 講師：小柴和子 キミツナカノ 助産院 3) 妊娠中からの身体を整えるための骨盤ケア（初級編） 講師：米丸充咲 あびこ助産院 4) 「1%の風景」上映会 R7年2月23日開催	1) R6年5月30日開催 千葉市生涯学習センターにて 2) 会員5名、非会員3名 災害時でも役立つ事を学ぶ。 3) 会員4名、非会員5名 安産につながる骨盤ケアを学ぶ。 研修の承認、募集が1か月前と遅かったため参加人数が少なかった 4) 「1%の風景」上映会 R7年2月23日開催、一般58名、高校生以下6名、未就学児10名、合計74名 5) 助産院を開業された方はいましたが、助産所部会会員の入会はなかった。

3. 次年度（令和7年度）課題

- 1) 定例会の出席率と安全研修の受講率を上げる。
- 2) 助産院の存在と自然分娩の周知を行う。

令和 6 年度 保健指導部会 活動報告

部会長 来田美鈴

委 員 小椋利絵 遠藤隆子 神崎雅子

1. 部会開催状況

開催日	議題	内容	出席委員名
4 月 19 日（金）	1. 6/30 保健指導部会交流会開催企画	・交流会当日スケジュールと役割分担	来田、小椋、遠藤 神崎
5 月 30 日（金）	1. 6/30 保健指導部会交流会開催企画 2. 12/1 の研修会テーマについて 3. 来所型安全管理指針作成について	・交流会広報活動について ・渡邊先生の資料確認と事前確認 ・会場スタッフとの事前打ち合わせ内容確認 ・12/1 研修集会は母乳育児がテーマ ・安全管理指針サンプル作成の提示について	来田、小椋、遠藤 神崎
6 月 21 日（金）	6/30 保健指導部会交流会開催企画	・交流会参加申込み確認 ・交流会最終確認	来田、小椋、遠藤 神崎
6 月 30 日（日）	令和 6 年度保健指導部会交流会開催	・テーマ『機中八策®』他職種連携で、温かい子育ての輪を広げましょう」 ・講師：渡邊直先生（中央児童相談所 所長）参加者：31 名	来田、小椋、遠藤 神崎
7 月 26 日（金）	1. 交流会振り返り 2. 12/1 母乳育児研修会企画 3. 来所型安全管理指針作成について	・研修会⇒交流会へ変更 ・交流会での内容検討 ・安全管理指針サンプルの内容確認	来田、小椋、遠藤 神崎
8 月 30 日（金）	1. 来所型安全管理指針作成について 2. 12/1 交流会企画	・安全管理指針サンプルの提示について ・交流会での症例発表者への打診 ・案内作成について	来田、小椋、遠藤 神崎
9 月 20 日（金）	1. 12/1 交流会企画 2. 助産業務安全管理評価表について	・交流会での症例発表者決定 ・交流会タイトルの決定 ・助産業務安全管理評価表の案内と提出のお願いについて	来田、小椋、遠藤 神崎
10 月 18 日（金）	1. 12/1 交流会企画 2. 助産業務安全管理評価表について 3. BCP について 4. 次年度の計画について	・交流会当日スケジュールについて ・助産業務安全管理評価表提出状況について ・BCP サンプル作成について ・次年度の研修・交流会について 産後ケアに関する研修	来田、小椋、遠藤 神崎

11月15日（金）	1. 12/1 交流会企画 2. 助産業務安全管理評価表について	・交流会参加者確認・準備について ・助産業務安全管理評価表提出状況について	来田、小椋、遠藤 神崎
12月1日（日）	1.「最近の母乳あるあるを語りませんか？」交流会開催	・母乳育児支援2症例 ・安全な添い寝授乳について ・日常のケアの中での母乳育児あるあるディスカッション 参加者 19名	来田、小椋、遠藤 神崎
1月24日（金）	1. BCPについて 2. 次年度活動について	・次年度も継続検討 保健指導型助産院のサンプル作成 ・次年度研修 妊産婦の身体の使い方について ・交流会の開催	来田、小椋、遠藤 神崎

2. 令和6年度 部会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
1. 千葉県全域における産後ケアの普及と質の高い産後ケアを提供する	1) 他職種地域連携を図る (1) 千葉県・市町村・医師会・看護協会・保健センター・子ども家庭支援センター等への積極的な広報活動 (2) 上記機関と研修会への積極的参加や交流会の開催 2) 多様なニーズに対応できる質の高い産後ケアを提供する (1) 産後ケアに活用できる研修会の開催 (2) 会員同士の情報交換	1) 渡邊直氏（千葉県中央児童相談所所長）による『機中八策』の講演会実施。 助産師だけでなく、保健師、教師、社会福祉士など、こどもに関わる他機関、他職種の参加があり交流する機会となった。 2)『最近の母乳育児あるあるを語りませんか』をテーマに交流会を実施。 対面による、助産師同士の活発な情報交換や意見交換があり、満足度の高い交流会となった。
2. 保健指導型助産院のBCPを作成し、災害時にも対応出来る助産院運営を促進する	1) 保健指導型助産院のBCPを作成する (1) 日本助産師会BCP作成ガイドラインを参考にする	1) 今年度は、保健指導型来所助産院の安全管理指針のサンプルを作成し普及を図った。 BCPサンプルを作るところまでは至らなかったため、次年度へ継続して取り組むこととした。

3. 次年度（令和7年度）課題

- 1) 千葉県全域における産後ケアの普及と質の高い産後ケアを提供する
- 2) 保健指導型助産院のBCP作成を推進する

令和6年度 勤務助産師部会 活動報告

部会長 山中 真弓

委 員 大久保 洋子（副部会長） 大江 朋子（会計）

1. 部会開催状況

開催日	議題	内容	出席委員名
5月29日(水) オンライン	1. 活動計画 2. 役割分担 3. 研修会について	1) 勤務部会規定の確認 2) 活動マニュアルの確認 3) 研修会の再考 日程・講師選定・内容・方法	大久保 大江 山中
6月 メール会議 オンライン	1. 研修会について	1) 研修会について ・日程、講師選定、内容、方法の検討 2) アンケートについて ・内容、対象の検討	大久保 大江 山中
7月～8月 メール会議	1. 研修会について	1) ポスター作製・講師依頼 2) 第1回研修会役割分担検討	大久保 大江 山中
9月 メール会議	1. 研修会について 2. 活動中間報告	1) 第1回研修会広報活動 2) 講師との調整	大久保 大江 山中
10月 メール会議 オンライン	1. 研修会について	1) 第1回研修会当日運営内容打合せ 2) 事後アンケート、受講証の作成	大久保 大江 山中
11月 メール会議 オンライン	1. 研修会について	1) 講師打合せ、当日運営内容確認 2) 第2回研修会について ・内容、会場準備、方法の検討 ・ポスター、アンケート、受講証作成	大久保 大江 山中
12月 オンライン	1. 研修会の実施 振り返り 2. 次回研修会の 打ち合わせ	1) 「安全な無痛分娩」開催 参加者 28 名 ・事後アンケート集計 2) 第2回研修会について ・講師依頼と打ち合せ	大久保 大江 山中
1月 メール会議 オンライン	1. 研修会の打ち 合わせ 2. 活動報告 3. 次年度計画	1) 第2回研修会について ・参加者名簿作成、参加者案内 ・当日運営内容確認 2) 活動報告と次年度計画の検討	大久保 大江 山中
2月	1. 研修会の実施 2. 振り返り	1) 「胎児エコーの基礎」開催 参加者 13 名 ・事後アンケート集計 ・会計報告	大久保 大江 山中

2. 令和6年度 部会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
1. 日々の実践に役立つ研修会を開催する。	1) 助産実践に役立つ研修会の企画および開催をする。	<p>1) 本年度の研修会は「安全な無痛分娩の知識」「胎児エコーの基礎」を開催し、広く各地区および部会からの参加が得られた。参加者の所属先は、助産院や診療所に勤務している者が多く、病院所属の参加者は少なかった。研修内容を充実させ病院勤務の助産師を取り込む必要があると思われる。</p> <p>2) 参加者の講義への理解度は高かった。多くの参加者が日常の業務に役立てられる内容であったと回答している。</p> <p>3) 開催方法の希望では ZOOMが多かったが、助産師同士の交流も含め対面やハイブリッドの開催も視野に入れる。時間帯は、休日（日曜日）であれば午前の希望が多かった。</p>
2. 勤務助産師同士がつながるために、勤務助産師のニーズの把握や助産師同士の交流を図る。	1) 勤務助産師のニーズを把握する。	1) 今後の研修会の希望テーマは、「産後ケアを受けている施設の実際」や「エジンバラ産後うつ質問票の具体的な活用法」「小児期からの性教育について」「助産院における微弱陣痛のケア」などが挙がっていた。次年度は、広く希望調査を実施したい。他施設でのケアの実際や助産所助産師や保健指導助産師から学びたい内容もあり、ケアの伝承を得る機会を考えていく。
3. 切れ目ない産前・産後支援に向けて、勤務助産師と地域との連携を図る。	1) 勤務助産師と地域の助産師、他職種との交流を図る。	1) 勤務助産師部会はもとより、保健指導部会、助産所部会と共通性の図れる研修テーマを設定し、地域の助産師との交流を図ることを課題とする。また、助産所業務ガイドラインの改定や安全評価などの情報共有を行い、切れ目ない支援に向けた勤務助産師の参加を促進することが必要と思われる。

3. 次年度（令和7年度）課題

- 1) 関心の高いテーマを取り入れ日々の助産実践に役立つ研修会の実施
- 2) 勤務助産師のニーズを把握し、助産師同士の交流を深める。

5. 委員会活動報告

- 1) 教育委員会
- 2) 子育て委員会
- 3) 安全対策委員会
- 4) 災害対策委員会
- 5) 広報委員会
- 6) 将来構想検討委員会
- 7) 細則検討委員会
- 8) 生と性の健康教育委員会

令和6年度 教育委員教育会 活動報告

委員長 山田万希子

委員 古賀千恵子, 石井恵美子, 五十部恵
増田文子, 戸村恵理

1. 委員会開催状況

開催日	議題	内容	出席委員名
5月13日(月) 19:30~20:30 Zoom	委員会会議 1. 新委員紹介 2. 委員連絡先・ 交通経路の確認 3. 委員任期確認 4. 2023年度研修 会分担表(案)・ 研修会費につ いて 5. 今後の予定確認	・新委員紹介 ・委員の任期確認、連絡先と交通経路 確認 ・今年度委員会活動計画および教育 計画について ・2024年度予算について ・6月30日(日), 2月2日(日) NCPR S コース研修実施の確認 ・9月頃 DV に関する研修会 ・11月頃 J-CIMELS 研修	山田, 古賀 石井, 増田 戸村
5月31日(木) 対面	1. 地区報告会抄 録の取りまと め 2. 印刷依頼確認	・地区報告会抄録の内容確認 ・印刷場所の決定と予算確認	山田, 石井
6月17日(月) 対面	1. 三隅順子先生と の打ち合わせ	・「DVに悩む女性への支援」 日時, 内容, 進行の打ち合わせ	山田
6月27日(木) 19:00~20:00 対面	1. J-CIMELS 研修 計良和範先生と の打ち合わせ	・J-CIMELS 研修会 日時, 内容, 進行, インストラクター, 使用物 品レンタル, 搬入の打ち合わせ	山田, 増田
6月30日(日) 9:00~17:00 対面	1. NCPR 研修実 施 2. 委員会会議	・NCPR S コース研修会の実施 ・9月15日(日)「DVに悩む女性へ の支援」 詳細打ち合わせ ・11月23日(土) J-CIMELS 研修会 実施について 打ち合わせ報告	山田, 古賀 石井, 五十部 増田, 戸村
7月12日(金) 10:00~11:30	1. 大潮封入作業 参加	・大潮封入作業参加	山田
9月15日(日) 10:00~12:00 12:00~12:30 Zoom	1. 研修会「DVに悩 む女性への支 援」研修会 2. 委員会会議	・研修会の実施 ・11月23日(土) J-CIMELS 研修会 実施について 進捗状況報告	山田, 古賀 石井, 増田 戸村
11月23日(土) 12:00~17:30 対面	1. J-CIMELS 研修 実施	・J-CIMELS 研修会の実施 計良和範先生, 太田裕穂先生	山田, 増田 石井

11月23日(土) 18:00～ 対面	1. 次年度の研修会 打ち合わせ	・次年度の研修会の内容と時期を計 良先生と打ち合わせ	山田, 増田
2月2日(日) 9:00～17:00 対面	1. NCPR S コー ス研修 2. 委員会会議	・NCPR 講習の実施 ・婚宴度の振り返りと次年度の計画 について	山田, 古賀 石井, 戸村

2. 令和6年度 委員会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
1. 助産師の継続教育として必要な研修会を開催する	1) 体系化した教育計画を立案する 3) 受講者のニーズを満たす研修会内容や研修方法を工夫する 4) 実施した研修会が継続教育に有効であったかを評価する	1) DV に悩む女性への支援研修を Zoom にて実施し、女性支援のための知識や実際を学んだ。J-CMELS 講習、NCPR 講習は少人数で行い、丁寧なご指導を頂けたと評価が高かった。 2) 研修は実践に即した内容であり、参加者から多くの学びがあったとアンケートの記載を頂いた。 3) 研修は最新のデータを活用した講義であり、継続教育に有効であると考えられた。
2. 社会状況に対応可能な研修会の年間計画を立案・実施する	1) 他部会及び委員会と連携した体系的な教育計画を実施する 2) 社会状況を踏まえ、立案した教育計画を速やかに修正し運営する 3) 実施した研修会が継続教育に有効であったかを評価する	1) 他部会や委員会との連携は研修会計画を立案する際に考慮し日程調整を行ったが、研修会の日程は講師の都合等で配慮が難しい場合もあり、早めの情報共有が必要である。 2) Zoom の研修は感染対策でもあるが、多くの方の参加には有効であると考えられる。今後も内容によって、Zoom を活用した研修会を継続したいと考える。 3) J-CMELS 講習、NCPR 講習、講義による研修は助産師の継続研修として有効なものであったと評価する。今後も継続する。
3. 遠隔による効果的な委員会活動を実施する	1) 委員会メンバーの役割分担を整備し実施する 2) ZOOM、LINE、mail を使用し委員会メンバー間で情報共有する	1) 研修会前の会議において、役割分担を確認し実施した。研修は円滑に行えた。 2) 会議は、対面と Zoom で行った。LINE や mail も活用し、会議は円滑に進行出来た。

3. 次年度（令和7年度）課題

- 1) 研修会の周知を早めに行い、募集を2か月以上前にする。
- 2) 研修会後のアンケートを基に助産師会員の要望や必要とする研修会を企画・運営する。

令和6年度 子育て委員会 活動報告

委員長 渡辺佐智子

委員 飯島睦子 川島広江 菅谷厚子 新森永遠路 高垣千文

1. 委員会開催状況

開催日	議題	内容	出席委員名
R5.9月初旬	委員長選出	委員長と委員の選出、研修交流会の案、相談事業の課題の会議	渡辺・飯島・川島 菅谷・新森・高垣
R5.10. 23	申し送り	来年度に向けての準備について	渡辺・飯島・川島 菅谷・新森・高垣
3月22日(金)	1. 引継ぎ 2. 役割分担	・6地区より引き継ぎ ・主な役割分担 ・相談員全員のLINEグループ作成 ・リマインドメール→LINE活用	渡辺・飯島・川島 菅谷・新森・高垣
4月10日(水) 会議	1. 転送作業確認	・転送作業確認 ・各月の担当者等決定(リマインド)	渡辺・飯島・川島 菅谷・新森・高垣
5月15日(水) 会議	1. 交流会準備会議 2. 4月分集計	・交流会の内容決定・役割分担	渡辺・飯島・川島 菅谷・新森・高垣
6月12日(水) 会議	1. 交流会準備 2. 5月分集計	・周知のためのPDF作成	渡辺・飯島・川島 菅谷・新森・高垣
7月9日(火) 会議	1. 6月分集計 2. 交流会準備	・交流会準備 ・運営上の問題点などの検討	渡辺・飯島・川島 菅谷・新森・高垣
7月19日(金) 交流会	子育て交流・研修会開催	テーマ 電話相談の目的 交流会 参加者24名	渡辺・飯島・川島 菅谷・新森・高垣
8月7日(水)	1. 交流会反省会 2. 7月分集計	・交流会振り返り	渡辺・飯島・川島 菅谷・新森・高垣
9月10日(火)	1. 8月分集計		渡辺・高垣
10月2日(水)	1. 交流会準備 2. 9月分集計	・交流会のテーマ決定 「傾聴について」	渡辺・飯島・川島 菅谷・新森・高垣
11月6日(水)	1. 交流会準備 2. 10月分集計	・交流会の構成 ・交流会役割分担/PDF作成	渡辺・飯島・川島 菅谷・新森・高垣
11月29日(金)	交流・研修会開催 Zoom	参加者35名	渡辺・飯島・川島 菅谷・新森・高垣
12月10日(水)	1. 11月集計 2. 次年度準備	・来年度の協力員募集のチラシ作成	渡辺・飯島・川島 菅谷・新森・高垣
1月15日(水)	1. 次年度準備 2. 12月集計	・フライヤーの変更点、数、配布場所、方法など	渡辺・飯島・川島 菅谷・新森・高垣
2月4日(火)	1. 次年度準備 2. 1月集計	・シフト表作成、大潮同封準備 カルテ、フライヤー、備品の準備	渡辺・飯島・川島 菅谷・新森・高垣

3月11日（火）	1. 2月集計		渡辺・飯島・川島 菅谷・新森・高垣
3月下旬	9地区への申し送り	・令和7年度担当の9地区への引継ぎ	渡辺・飯島・川島 菅谷・新森・高垣

2. 令和6年度 委員会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
1. 円滑な電話相談事業システムへの取り組み	<p>1) 持続可能で安定した電話相談事業の運営</p> <p>(1) 柔軟で安定した運営システムの確立（グループ LINE の活用，相談員同士の協力体制の強化）</p> <p>(2) 適宜、グループ LINE を通して相談員間の情報共有を行う。</p> <p>2) 毎年継続していけるような安定した相談員の確保</p> <p>(1) 繰り返し、会員全体への相談登録への呼びかけ</p> <p>(2) 研修会などを通し、会員が電話相談事業へ関心を向け、社会的にも重要な役割であるという意識が持てるよう図る。</p> <p>3) 地域との連携、開業助産師や他機関との連携</p> <p>(1) 紹介した助産院には、情報提供し連携を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は 28 名で担当し、1 月平均は 30 件であった。（例年の半分程度） ・担当忘れ防止策として、委員から、グループ LINE への当番の投稿を行った。担当者はレスポンスするようにした ・広報誌「大潮」を通して情報発信をした。 ・交流会やグループ LINE を通して情報の共有を図った。 ・交流会では、1 回目「電話相談とは」2 回目は「傾聴とは」を事例検討と共に企画し、電話相談の心構えや対応などを改めて情報提供し、大変好評であった。 ・相談内容に応じて、保健センターや助産所につなぐケースがあった。
2. 相談員の質向上およびメンタルヘルスに努める	<p>1) 相談員が積極的に協力できる環境を整える。</p> <p>(1) 交流会などを通じ、各々が抱える不安や対応スキルの情報交換をしていくことで個々のスキルアップと不安解消に努める。</p> <p>(2) 重たいと感じる相談や、困ったと感じる相談について情報を共有し、相談員の負担軽減に努める。</p> <p>(3) 電話相談の限界を理解し、電話相談では解決できない場合は他機関との連携し支援する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交流会の事例検討会を行い、相談員同士の情報共有や電話相談の特性を踏まえた対応について共有した。事後アンケートでも好評をいただいた。 ・1 回（3 時間）の相談に対し謝金 1,000 円（源泉徴収含む）が支給は継続となった。 ・週 2 回（月・金）の体制となった。

3. 次年度（令和7年度）課題

- 1) 各地区からの相談員の確保
- 2) 転送謝礼、相談員謝礼の支払い方の見直し

令和6年度 安全対策委員会 活動報告

委員長 的場晴美

委員 米丸充咲・來田美鈴・山中真弓・佐藤重子・清水清美

1. 委員会開催状況

開催日	議題	内容	出席委員名
5月15日(水) 第1回会議(Zoom)	1. 報告事項 2. 検討事項	・7月研修会について ・安全管理評価訪問の予定、C評価について	的場・米丸・來田・山中・佐藤・清水
5月22日(水)	1. 評価訪問①	・ねむねむ助産院・キミツナカノ助産院	米丸・的場
6月6日(木)	1. 評価訪問②	・あびこ助産院・みらい助産院	米丸・的場・佐藤
6月19日(水) 第2回会議 (Zoom)	1. 報告事項 2. 検討事項	・7月研修会(役割確認) ・安全管理評価訪問状況・安全研修とは ・助産所分娩基本データシステムについて	的場・米丸・來田・山中・佐藤・清水
7月1日(月)	1. 評価訪問③	・ひまわり助産院・若草助産院	米丸・的場
7月17日(水) 第3回会議 (Zoom)	1. 研修会準備 2. 検討事項	・21日研修会役割最終確認 ・インシデント・アクシデント報告について ・10月研修会内容検討	的場・米丸・來田・山中・佐藤・清水
7月19日(金)	1. 評価訪問④	・ゆい助産院	米丸・的場
7月21日(日) 研修会①(対面)	研修会準備 開催 90分	「産後ケアの安全対策」 世田谷区立産後ケアセンター 永森久美子センター長(千葉市文化センター)参加者31名	吉岡・小柴・來田・山中・的場・清水
7月31日(水) (Zoom)	1. 評価訪問⑤	・アロマバース助産院	米丸・清水
8月28日(水)	1. 評価訪問⑥	・菅谷助産院・さくら咲く助産院・武田助産院	米丸(田中)・的場
9月18日(水) 第4回会議 (Zoom)	1. 報告事項 2. 検討事項	・インシデント事案について共有 ・研修会振り返り・11月研修会企画 ・評価訪問について ・安全管理評価表について	的場・米丸・來田・山中・佐藤・清水
10月16日(水) 第5回会議 (Zoom)	1. 報告事項 2. 検討事項	・12月17日研修会会議について ・安全管理評価表集計について ・委員会の役割について	的場・米丸・來田・山中・佐藤・清水
10月27日(日) 研修会② (Zoom)	研修会準備 開催 120分	「産科救急の実践」動画と講義によるシミュレーション 淀川祐紀先生(船橋中央病院)参加者28名(非会員4うち学生2)クロップミップ15名	的場・米丸・來田・山中・佐藤・清水
11月26日(水) 第6回会議(Zoom)	1. 報告事項 2. 検討事項	・インシデント・アクシデント報告について ・1月研修会の内容決定 ・助産所分娩基本データシステム更新 ・安全管理評価表集計本部へ提出(清水)	的場・米丸・來田・山中・佐藤・清水

12月18日(水) 第7回会議(Zoom)	1. 報告事項 2. 検討事項	・インシデント・アクシデント報告について ・1月研修会の内容確認、役割分担	的場・米丸・來田・山中・佐藤・清水
1月15日(水) 第8回会議(Zoom)	1. 報告事項 2. 検討事項	・インシデント・アクシデント報告について ・1月研修会準備	的場・米丸・來田・山中・佐藤・清水
1月26日(日) 研修会③(対面)	研修会準備 開催 90分	「インシデント・アクシデント報告から学ぶ」 (千葉市生涯学習センター) 参加者 17名	的場・米丸・來田・山中・清水
2月1日(土) (Zoom)	集会参加	日本助産師会 2024年度安全対策小委員会連携	的場
2月19日(水) 第9回会議 (Zoom)	1. 報告事項 2. 検討事項	・研修会振り返り ・今年度まとめ・次年度研修会企画 ・インシデント・アクシデント報告本部へ提出	的場・米丸・來田・山中・佐藤・清水

2. 令和6年度 委員会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
1. 事故・搬送・転院事例・ヒヤリハット事例の報告が的確に行える	1) 年2回の研修会企画・開催 (1) リスクマネジメント研修会 2) インシデント・アクシデント報告の運用方法 (1) 意義を告知・ (2) 報告の活用を検討	1) 「産科救急の実践」「インシデント・アクシデント報告から学ぶ」研修会実施 2) 研修会により周知
2. 助産所安全管理評価を助産所部会と共同で実施できる。	1) 助産所部会長と協働し、「助産所安全管理評価」を実施 (1) 嘱託医、協力医療機関との契約更新・保険加入の確認 (2) 改善点・気づきを共有する	1) 全助産所実施できた (1) 実施 (2) 出来ていないところは1カ月以内に改善し部会長に報告
3. 安全対策の視点で母乳育児支援・産後ケアの在り方が向上できる。	1) 安全な母乳育児支援、産後ケアのための情報を共有する 2) with コロナにおける感染症対策に関する情報提供を行う	1) 産後ケア研修会実施し、情報共有した 2) 委員会として情報提供はできなかったが、安全管理評価表調査により、感染対策について会員一部で確認した。感染に関するインシデントはなかったことにより、各自業務では遂行されていると思われる。
4. 保険加入への推進を図る。	会員に保険加入の必要性を達・加入状況を確認する	1) 地区長 部会長より伝達 2) 安全管理評価表調査で確認

3. 次年度(令和7年度)課題

- 1) インシデント・アクシデント報告の運用方法の周知
- 2) 安全管理評価表にそって(保険加入やマニュアル等)日頃の備えができる
- 3) 災害視点でのリスク確認ができる

令和6年度 災害対策委員会 活動報告

委員長 金子 真理恵

委 員 塩見 良子 鈴木 香里 進藤 延江 西宮 慎子

1. 委員会開催状況

開催日	議題	内容	出席委員名
4月14日(日) 船橋市市民活動サポートセンター	第1回役員会	・今年度の予定 ・日本助産師学会ポスターセッション発表準備	鈴木、西宮 塩見、金子
5月6日(月) 事務所	第2回役員会	・今年度の予定 ・引き継ぎ	塩見、鈴木、西宮、金子
6月5日(水) ZOOM 事務所	第3回役員会	・今年度の予定、運営、組織編成 ・九都県市合同防災訓練について ・シミュレーション訓練について	塩見、鈴木、進藤、西宮、志村、金子
6月9日(日) 千葉市文化センター	第1回委員会	・今年度の予定、運営、組織編成 ・九都県市合同防災訓練について ・シミュレーション訓練について ・支援協力員、助産院の確認他	足立、嶋岡、水野、伊東、徳永、稲葉、進藤、志賀、鈴木、西宮、志村、金子
9月25日(水) 事務所 ZOOM	第4回役員会	・九都県市合同防災訓練について ・シミュレーション訓練について ・協定締結の流れ ・日本助産師会連携集会 ・小児周産期リエゾン研修他	塩見、鈴木、進藤、西宮、志村、金子
9月29日(日) ZOOM	第2回委員会	・九都県市合同防災訓練について ・シミュレーション訓練について ・日助連携集会、リエゾン研修 ・各地区の活動、防災訓練 他	足立、嶋岡、水野、伊東、徳永、稲葉、進藤、志賀、鈴木、西宮、志村、根岸、清水、金子
11月8日(金) ZOOM	第3回委員会	・シミュレーション訓練 ・活動報告(九都県市合同防災訓練、連携集会、リエゾン研修など) ・協定市派遣アクション作成他	足立、水野、伊東、徳永、稲葉、進藤、志賀、鈴木、西宮、志村、根岸、清水、金子
1月15日(水) 事務所 ZOOM	第5回役員会	・アクションカード作成 ・次年度の運営・予算	塩見、鈴木、進藤、西宮、志村、金子
1月19日(日) ZOOM	第3回委員会	・シミュレーション訓練振り返り ・支援協力員、協力助産院の確認 ・地区の活動報告 ・次年度の運営・予算	嶋岡、水野、伊東、徳永、稲葉、志賀、鈴木、西宮、志村、根岸、清水、金子

2. 令和6年度 委員会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
1. 全地区の情報共有を図る	1) 通常定例会及び必要に応じ臨時会議を開催する。 2) 各地区との情報の収集や共有、また問題発生時には解決に努める。	1) 通常定例会は対面、ZOOMにて4回開催。 2) 委員会グループLINEやメールにて常時、情報共有はできた。
2. 災害時の初動動作に有効なシミュレーションを検討し、準備実施をする。	1) シミュレーションができる災害時訓練への参加を促す。 2) 改定後の災害時マニュアルの熟読を推進する。 3) 災害時支援協力員・協力助産院の確保に努める。 4) 全員への周知を目指し各地区にて災害時連絡網を整備する。 5) 初動動作が円滑にできるよう、災害対策本部の役割の細部まで検討し、シミュレーション訓練を実施する。	1) 訓練の中でオンライン会議を実施。新たな課題を抽出した。 2) マニュアル熟読の促進不足だったため、来年度は各地区に促していく。 3) 協力助産院、協力員のリストアップを年に2回実施した。 4) 会員全員への周知は、地区委員が努力している。今後も呼びかけをしていく必要がある。 5) 新たな改善点として、行動をシステム化するためアクションカードの作成を開始した。
3. 日本助産師会・近隣都道府県助産師会との連携を図り、協力体制を構築できるように努める。	1) 日本助産師会主催及び他機関主催の災害対策研修へ参加する。 2) 研修会等で、近隣助産師会の災害時支援の連携について検討し合い、顔の見える関係を築くことができるように努める。 3) 近隣助産師会による支援協力を受ける時の手順を考える。	1) 小児周産期リエゾンが主催する講習へ参加した。 2) 日本助産師会主催の研修会へ参加し、他県と意見交換することができた。 3) 日本助産師学会で茨城県助産師会と交流できた。九都県市合同防災訓練でDMATなど4団体で協働して活動できた。
4. 地域の災害対策事業に参加する。	1) 市町村との災害時支援協力を図る。(災害時支援協定) 2) 災害時支援協定締結後の市町村との細部の活動を確認する。 3) 地域の防災訓練に参加し、助産師活動をアピールする。 4) 千葉県リエゾンへ積極的に参加し、リエゾンの一員としての役割を果たすことができるように努める。	1) 8月白井市との協定が締結。他市からも連絡があり、現在検討中。 2) 所属地区にて話し合いを積極的に働きかけ、協定書のアップデート推進。 3) 各地区にて防災訓練が再開し、参加している。 4) 有床助産院が広域災害救急医療情報システム(EMIS)への登録を完了し訓練も施行済。

3. 次年度(令和7年度)課題

- 1) 各市町村との災害時支援協定の締結
- 1) 災害時の他県や他機関との連携
- 2) 災害時会場マニュアルの改訂準備

令和6年度 広報委員会 活動報告

委員長 齋藤明子

委 員 佐藤幸江・富田三奈子・宇梶智恵美

1. 委員会開催状況

開催日	議題	内容	出席委員名
5月7日	大潮44号原稿依頼	執筆者へ原稿依頼	佐藤幸江
5月11日	新会員オリエンテーション	・広報委員の内容や担当決め	齋藤明子 富田三奈子 宇梶智恵美
6月2日～ 6月17日	1. 原稿締め切り 2. 編集作業開始	・メール、ライン会議 ・執筆者へメールで原稿確認	広報委員4名
6月18日	イロドリ入稿、入金	・500部発注 ・コンビニ払い	齋藤 佐藤
7月12日	1. 大潮44号発送 第1回委員会 2. 原稿依頼内容 3. HP掲載依頼	・執筆者・大潮45号内容決定 ・郵便局への支払い待機	広報委員4名 山田・安達・椿
9月23日	1. 大潮45号原稿内容の詳細決め	・電話会議にて原稿依頼の文字数見直しと依頼者の確認	広報委員4名
10月1日	大潮45号原稿依頼	執筆者への原稿依頼	宇梶
10月31日～ 11月22日	1. 原稿締め切り 2. 編集作業開始	・メール、ライン会議 ・執筆者へメールで原稿確認	広報委員4名
11月23日	イロドリ入稿、入金	・500部発注 ・コンビニ払い	佐藤 富田
12月17日	1. 大潮45号発送 第2回委員会 原稿依頼内容 2. HP掲載依頼	・執筆者・大潮46号内容決定 ・郵便局への支払い待機	広報委員4名 新井・椿
1月6日	大潮46号原稿依頼	・執筆者への原稿依頼	宇梶
2月2日～ 2月27日	1. 原稿締め切り 2. 編集作業開始	・メール、ライン会議 ・執筆者へメールで原稿確認	広報委員4名
2月28日	イロドリ入稿、入金	・500部発注 ・コンビニ払い	齋藤・富田 佐藤
3月17日	1. 大潮46号発送 第3回委員会 2. 原稿依頼内容第3 3. HP掲載依頼	・大潮47号の内容決定 ・郵便局への支払い待機	広報委員4名

2. 令和6年度 委員会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
1. 計画的、効率的に大潮発行活動に取り組む	1) 年間計画を作成し大潮を年3回発行する。 2) 原稿依頼・編集・発送に関して手順・役割分担をマニュアル化し、効率的に大潮を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・大塩44号、45号、46号が計画通り発行できた ・マニュアル6月に更新した。 ・新しいメンバーが加入してもマニュアルによりスムーズに業務に取り組めた。 ・現金取引のため集荷まで広報委員の待機による負担があるため令和7年改善案提出。
2. 大潮を通して、会員へ助産師会の活動を広報する	1) 大潮の内容は、千葉県助産師会の事業や研修会の情報などを記載し、会員に配布する。 2) ホームページとメーリングリストの活用について広報する。	<ul style="list-style-type: none"> ・写真を多用した紙面で、助産師会の活動の様子を広報した。興味を引く工夫ができた。 ・千葉県内の産後ケア状況を市単位で紹介した。
3. 大潮やリーフレットを通して、他機関へ千葉県助産師会の活動を広報する	1) 大潮の内容は、千葉県助産師会の事業や研修会の情報などを掲載し日本助産師会及び他機関へ送付する。 2) 千葉県助産師会ホームページに大潮を掲載する。 3) 各地区のイベントで、リーフレットを活用してもらう。	<ul style="list-style-type: none"> ・庶務と連携し、「大潮」を日本助産師会、病院、クリニック、保健所等関係諸機関へ送付した。 ・千葉県助産師会のHPに大潮を掲載した。 ・大潮の予備の活用ができなかった。

3. 次年度（令和7年度）課題

- 1) 委員への業務負担軽減
- 2) 発行回数やページ数についての検討
- 3) 送料料金値上げによる発送方法の見直し。

令和6年度 将来構想検討委員会 活動報告

委員長 志村千鶴子

委 員 清水清美 根岸雄子

米丸充咲 來田美鈴 山中真弓

1. 委員会開催状況

運営会議および理事会で検討した。

2. 令和6年度 委員会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
1. 社会のニーズを把握し、助産師会活動に反映する。	1) 国・県・市町村から発信された情報を収集する。 2) 関連機関との連携を促進し、情報収集に努める。 3) 情報を運営会議や理事会で共有し、事業展開について検討する。 4) 必要に応じて助産師会独自、県及び市町村による事業展開に向けた準備に着手する。	1) 行政・関連機関の会議や話し合いに参加することによって情報収集し、会員へ通知した。 2) 千葉県、日本助産師会、千葉県看護協会と連携して情報収集を行った。 3) 収集した情報を運営会議や理事会で共有し、新型コロナ対策、災害支援等における行政及び関連機関の事業に協力した。 4) 産後ケア事業やウイルスに感染した妊産婦への寄り添い型支援事業に協力した。独自の事業展開については検討中である。
2. 会員の増加に努めると共に、潜在しているマンパワーの把握と育成の提案を行う。	1) 会員の増加に努める。 (目標：380名) 2) 会員の活動調査内容を把握し、必要な情報を発信する。 3) 会員の育成に必要な研修会を提案する。	1) 会員数 383名(2月16日現在)で、目標を達成した。 2) 会員の活動内容を把握し、必要な情報は「大潮」やHP、MLで発信した。 3) 研修会の開催方法等を工夫して、会員に必要な研修会を開催できるように提案した。
3. 事務所の管理・運営の安定化を図る。	1) 事務所の活用を図るため、管理・運営方法を見直す。 2) 事務員の雇用の維持・安定化を図る。 3) 事務所移転を考慮する。	1) 事務所の管理・運営方法を検討した。 2) 事務員退職により新任用(会員)の雇用1名を維持している。 3) 事務所移転については、引き続き検討していく。
4. 助産所の存続と発展に向けた活動を行う。	1) 助産所(有床・無床)の減少を最小限にし、継続・発展するために後継者の育成を図り企画を協議する。 2) 助産所分娩施設の安全を守り、継続的に経営が成り立	1) 分娩を取り扱う助産所数の減少はない(有床9か所、無床2か所)が、後継者の育成や助産院の存続に向けた話し合いは今後も継続していく。 2) 連携医療機関・嘱託医の確保については、今後も努力する。

	<p>つために連携医療機関・嘱託医の確保に努める。</p> <p>3) 各専門部会（助産所部会・勤務助産師部会・保健指導部会）の会員の意見を収集し、専門職としての意見を県市町村に反映する。</p> <p>4) 活発に運営している県外を含めた助産所（助産、保健指導、訪問看護）施設見学、講話等を通して学ぶ。</p>	<p>3) 各専門部会の会員の意見は部会集会等で収集し、意見交換や情報収集をすることができた。</p> <p>4) 助産施設の見学は実施していないが、「これからの助産院経営」～訪問看護ステーション設立に向けて～研修会をオンラインで開催した。</p>
5. 地区部会の入会者を増やし、地区部会活動への参加を促す。	<p>1) 各地区部会の母子保健活動に関する情報を収集し整理する。</p> <p>2) 全ての会員が該当地区部会に所属し、地区部会活動に参加する機会を得られるよう促す。</p>	<p>1) 理事会等で共有し、情報交換の機会を持つことができた。</p> <p>2) 新会員へは入会パンフレットを用いて周知し、地区部会にも必ず入会するよう促した。</p>
6. 専門部会間の連携を強化して組織活動を展開する。	<p>1) 3部会集会を開催し、部会間の連携を図る。</p> <p>2) 3部会に共通したテーマについて検討する機会をもつ。</p> <p>3) 病医院、助産所、地域で働く助産師が連携する方法を他の組織団体とも協力を得ながら探る。</p>	<p>1) 3部会集会は開催しなかったが、研修会等で部会間の連携を図った。</p> <p>2) 3部会に共通したテーマである安全対策について研修会を開催した。</p> <p>3) 研修会等では病医院、助産所、地域で働く助産師が連携できた。</p>

3. 次年度（令和7年度）課題

- 1) 社会の変化やニーズを把握し、助産師会活動に反映する。
- 2) 会員増加に努めると共に、潜在しているマンパワーの把握と育成の提案を行う。
- 3) 事務所の管理・運営の安定化を図る。
- 4) 助産所の存続と発展に向けた活動を行う。
- 5) 地区部会の入会者を増やし、地区部会活動への参加を促す。
- 6) 専門部会間の連携を強化して組織活動を展開する。

令和6年度 細則検討委員会 活動報告

委員長 志村千鶴子

委 員 清水清美 根岸雄子

1. 委員会開催状況

運営会議および理事会で検討した。

2. 令和6年度 委員会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
1. 定款および細則の見直しを適宜行う。	1) 総会において、定款を改正する。 2) 地区集会やホームページを通し、会員への周知を図る。 3) 定款と細則の見直しを行う。	1) 令和6年度の総会にて、定款改正されており、見直しはしていない。 2) 改正した定款はホームページ等にて周知を継続している。 2) 定款および細則の見直しは、必要時継続していく。
2. 各専門部会・各委員会の規程作成および活動マニュアル作成の取り組みを支援する。	1) 各委員会の規程を適宜見直す。 2) 規程が作成されていない委員会には規程案の作成を支援する。 3) 各部会や委員会の役割を明確にし、規程および活動マニュアル作成の取り組みを支援する。	1) 2) 3) 部会および委員会の規程の改定は実施しなかった。しかし、「生と性の健康教育委員会」の活動が円滑に運営されるように、HPを修正したり、「災害対策委員会」の災害協定締結までの流れが円滑によるように提供書の見直しを支援した。
3. 規程集を作成する。	1) 既存の規程を適宜見直す。 2) 本会の活動に必要な規程があれば、新たに作成する。 3) それぞれの規程を規程集としてまとめる。	1) 既存の規定を見直した。 2) 新たに規定は作成しなかった。 3) まとめられた規程集を確認した。

3. 次年度（令和7年度）課題

- 1) 定款および細則の見直しを適宜行う。
- 2) 規程および活動マニュアルを適宜確認、見直しを図る。

令和6年度 生と性の健康教育委員会 活動報告

委員長 小路和子

委員 増田文子 伊藤志保 鶴岡利江子 横山鮎美

石毛光代 新森永遠路 安達桃子

1. 委員会開催状況

開催日	議題	内容	出席委員名
4月28日(木) 総会後委員会	1. 顔合わせ	・活動目的・内容の確認	増田、伊藤、鶴岡、 石毛、新森、 安達、小路
5月13日(月) ～5月17日 LINE 会議	1. 外部からの講師依頼についての検討	・依頼の内容、日程、講師料などを鑑み、対応を検討した	増田、伊藤、鶴岡、 石毛、新森、 安達、小路
5月19日(木) Zoom 会議	1. 研修・交流会 2. 講師依頼の検討	・日程、内容、役割分担の検討 ・LINE 会議で検討事項のまとめ	全員
5月21日(土) ～5月22日 LINE 会議	1. 外部からの講師依頼についての検討	・依頼の内容、日程、講師料などを鑑み、対応を検討した	増田、伊藤、鶴岡、 新森、安達、小路
6月17日(月) Zoom 会議	1. インシデント 2. 交流会 3. フォームメーカーの依頼状況 4. 大月書店訪問	・インシデントの報告と対応 ・参加申込みなど進捗状況報告 ・状況報告、対応に検討が必要であったケースについて ・日時 参加希望確認	増田、伊藤、鶴岡、 横山、石毛、新森、 安達、小路
7月5日(金)	1. 千葉 STI 研究会	・テーマ「STI 予防教育～千葉県助産師会の取り組み」発表	小路、増田、鶴岡
7月7日(日) 交流会 委員会	1. 交流会開催 2. HP の変更について	・テーマ「いのちと性に関するお気に入りの一冊を持ち寄って～講師をやっているひとこれからのも、みんな集まれ！！～」 参加者 20 名 ・インシデント対応と HP 変更について	増田、伊藤、鶴岡、 石毛、新森、安達 小路
7月28日(日) LINE 会議	1. 外部からの講師依頼について 2. 表彰者推薦について検討	・依頼の内容、日程、講師料などを鑑み、対応を検討した ・日本家族計画協会会長表彰候補推薦	増田、伊藤、横山、 石毛、新森、小路
8月2日(金) 大月書店訪問	1. 大月書店訪問 2. 活動についての検討	・性教育の書籍を編集者がどのような思いで作成されているのかインタビューを行った ・振り返りとニュースレター内容 ・交流会後、今後の活動について	増田、伊藤、鶴岡、 新森、安達、小路

8月19日(月) Zoom 会議	1. ニュースレター 2. HP の更新	・ニュースレターの作成・発行について話し合った ・HP の更新の内容について検討	増田、伊藤、鶴岡、横山、石毛、新森、安達、小路
9月24日(火)	ニュースレター発行		
10月31日(木) Zoom 会議	1. HP の更新	・HP の更新の内容について、項目など再検討した	増田、伊藤、鶴岡、横山、石毛、新森、安達、小路
11月23日(土)	1. ちば思春期研究会	・研修会 いのちの安全教育	増田・小路(理事) 鶴岡(参加)
12月12日(木) Zoom 会議	1. ニュースレターについて 2. 思春期相談事業	・ニュースレターの作成・発行について話し合った ・千葉県委託事業について検討	増田、伊藤、鶴岡、横山、石毛、新森、安達、小路
12月26日(木) 会議出席	1. 思春期相談事業	・千葉県委託の思春期相談についての会議に出席	増田、伊藤、新森、安達
1月27日(月) Zoom 会議	1. 活動報告のまとめ、次年度計画		増田、伊藤、鶴岡、石毛、新森、安達、小路
2月	1. ニュースレター発行		

2. 令和6年度 委員会目標に対する結果・評価

目標	内容	結果・評価
1. 「生と性の健康」の意義・必要性について会員の理解を深める	1) 研修会・交流会を開催する 2) ニュースレターの活用をすすめる	1) 7月7日(日)交流会を開催した。各自持ち寄った1冊の本の紹介から、それぞれの性教育への思いを傾聴、その後のグループワークでは気持ちや情報の共有を行った。 当日の内容についてニュースレターを発行し、参加できなかった会員に周知・共有した。 2) 各地区で行った。
2. 「生と性の健康教育」の方略を検討する	1) 様々な課題を抱える中で、今後も健康教育を実施・継続していけるよう図る	1) フォームメーカーからの難しい依頼やインシデント等、問題が起きる度に委員会内で速やかに情報を共有し、対話を重ね、助産師会としてよりよい対応が出来るよう努めた。
3. 助産師会と他職種の連携を図る。	1) STI 研究会に参画し、活動する 2) ちば思春期研究会に参画し、活動する。	1) 2) 千葉 STI 研究会の研修で発表、思春期研究会では理事として参加。医師、教師等他職種との情報・意見交換を行い、連携を図った。

3. 次年度(令和7年度)課題

- 1) 様々な課題がある中で、助産師が健康教育を実施・継続していくための方略を検討する。
- 2) 「助産師が行う健康教育」について会員の意識を深められるよう図る。

6. 表彰および福祉事業報告

＜令和6年度＞

表彰

恩賜財団母子愛育会会長表彰

進藤 典子 様

公益社団法人母子保健推進会議会長表彰

島森 孝恵 様

公益社団法人日本助産師会会長表彰

正林 文子 様

富田 三奈子 様

物故会員

鶴岡 基子 様

7. 行政および関連団体等への会議参加状況

地区	会議名
千葉県助産師会全体	千葉県母性衛生学会理事会
	千葉県医療推進協議会
	千葉県周産期医療審議会
柏・野田・我孫子 流山・松戸	柏市思春期関係者会議
	柏市保健衛生審議会母子保健専門分科会
	柏市乳幼児保健懇話会
	松戸市母子保健連絡協議会
	松戸保健所母子保健推進協議会
	松戸市防災会議
市川・浦安	我孫子市まち・ひと・しごと創生有識者会議
	市川市 STD 対策推進協議会
	社会福祉協議会評議員会
	浦安市子ども家庭支援センター養育訪問支援会議
	市川保健所母子保健推進会議
	市川保健所産後ケア会議
	社会福祉協議会ファミリーサポート事業会議
船橋	浦安市危機管理課防災会議
	船橋市要保護児童及びDV対策地域協議会代表者会議
	船橋市母子保健連絡協議会
習志野・八千代・鎌ヶ谷	船橋市地域災害医療対策会議
	八千代市思春期保健ネットワーク会議
	八千代市産後ケア連絡会議
	習志野保健所母子保健推進協議会会議
	習志野市防災会議
	習志野市社会教育委員会議
印旛	八千代市健康まちづくりプラン推進評価委員会会議
	印旛健康福祉センター運営会議
	印旛地域保健医療連携・地域医療構想調整会議
	印旛地区母子健康推進協議会
	成田市赤ちゃん訪問連絡会
	災害協力運営会議（佐倉市・成田市・八街市・印西市・白井市）
	災害医療対策会議（白井市・佐倉市・成田市）
	産後ケア訪問事業協議会 （佐倉市・四街道市・成田市・印西市・八街市・酒々井町）
香取・海匝・山武	山武市要保護児童対策地域協議会代表者会議
	山武保健所母子保健推進協議会
	長生保健所母子保健推進協議会
	香取保健所母子保健推進協議会
千葉	千葉市地域保健医療協議会
	千葉市健康づくり推進協議会
	千葉市保健所運営協議会
	健やか未来都市ちばプラン推進協議会
	千葉地域医療構想調整会議
	千葉市男女共同参画審議会
	千葉市国民健康保険運営協議会
市原・君津・安房	いちばら健倅まちづくりプラン すこやか親子ワークショップ
	健康づくり推進協議会
	市原健康福祉センター母子保健推進協議会
	君津健康福祉センター母子保健推進協議会
	安房地域母子保健推進協議会

8. 令和6年度 千葉県助産師会の主な動向

月 日	内 容
4月3日	千葉県立保健医療大学入学式（武田）
4月5日	あびこ助産師専門学校入学式（佐藤）
4月7日	第1回理事会（千葉市市民会館）
4月28日	一般社団法人千葉県助産師会通常総会（千葉市市民会館）
4月28日	第2回理事会（総会后）
4月28日	3役新旧引継ぎ 表彰関係・法務局申請等
5月3日	事業部・庶務引継ぎ・新旧会長挨拶状（事務所にて）
5月10日	事業契約関係書類等・事務所管理等引継ぎ・作業（佐藤・根岸）
5月16日	公益社団法人日本助産師会 都道府県代表者会議（足立監事代理出席）
5月17日	公益社団法人日本助産師会 第97回通常総会 一橋大学一橋講堂
5月18日	公益社団法人日本助産師会 第80回日本助産師学会
5月22日	武田企画とホームページの話し合い
5月24日	3役会議
5月26日	第1回運営会議
5月27日	関係機関への挨拶 （県庁、千葉県医師会、千葉県産婦人科医学会、千葉県看護協会）
5月29日	千葉県小児科医会（さとう小児科医院）への挨拶
6月1日	千葉県母性衛生学会学術集会（武田・佐藤）
6月9日	第3回理事会
6月10日	法務局申請手続き（志村・根岸）
6月14日	3役会議
6月17日	松戸市立旭町中学校訪問（志村）
6月20日	千葉県看護協会定時総会（清水）
6月22日	「国際助産師の日」のつどい in 木更津 みんなで支えあおう未来の子どもたち
7月2日	千葉県看護連盟通常総会（清水）
7月7日	生と性の健康教育委員会交流会
7月12日	第44号 大潮の発送
7月11日	佐倉南高校思春期教育講演会（根岸）
7月12日	第41号 大潮の発送
7月21日	安全対策委員会研修会
7月29日	法務局申請再提出（志村）
8月2日	白井市「災害時等における助産師による支援活動協力に関する協定」の締結式
8月2・3	元千葉県助産師会副会長鶴岡基子氏葬儀（清水・根岸）
8月6日	公益社団法人日本助産師会 第1回南関東地区代表者会議（志村）
8月25日	第2回運営会議
8月26日	山武市長来訪（志村）
8月27日	浦安市訪問型産後ケア話し合い（根岸・来田・塩見）
9月5日	日本助産師会助産所部会集会 オンライン
9月15日	第4回理事会

9月19日	千葉県医師会入江会長へ挨拶（武田・根岸）
9月29日	災害対策委員会（オンライン）
10月6日	千葉県災害時小児周産期リエゾン研修会（塩見）
10月8日	千葉県医療整備課および児童家庭課への要望書提出
10月12日	公益社団法人日本助産師会 災害対策委員会連携集会
10月20日	第45回九都県市合同防災訓練 千葉県いすみ市（志村・清水）
10月20日	公益社団法人日本助産師会 第1回南北関東地区代表者会議（根岸）
10月21日	習志野市産後ケア料金値上げ要望書提出
10月24日	八千代市保健センター訪問（志村・武田）
11月2日	武田企画とホームページの話し合い
11月3日	第3回運営会議
11月3日	中間監査
11月8日	災害対策委員会
11月17日	第5回理事会
11月17日	菜の花会
11月18日	災害時初動動作シミュレーション訓練
11月13日	公益社団法人日本助産師会 第2回都道府県助産師会代表者会議
11月19日	公益社団法人日本助産師会 災害委員会オンライン連携集会
12月17日	第45号 大潮の発送
12月19日	3役会
12月26日	（臨時）新規思春期相談事業検討会議
1月5日	第4回運営会議
1月5日	100周年記念・実行委員会決起・第1回会議開催
1月8日	スタジオアリス事業担当者打ち合わせ イオンモール木更津
1月10日	千葉県児童家庭課と思春期相談事業検討会議
1月11日	公益社団法人千葉県医師会新年会
1月19日	第6回理事会
1月25日	公益社団法人千葉県医師会新年会参加
1月24日	第1回千葉県医療推進協議会
1月30日	令和6年度君津保健所母子保健推進協議会（志村）
2月7日	山武市長来訪（志村）
2月11日	千葉県災害時小児周産期リエゾン研修会（塩見・金子）
2月14日	3役会
2月16日	第7回理事会
2月17日	公益社団法人日本助産師会 第2回南関東地区代表者会議
2月19日	（臨時）新規思春期相談事業検討会議
2月20日	100周年記念・実行委員会 第2回会議
2月25日	公益社団法人日本助産師会 臨時都道府県代表者会議
2月27日	3役会
3月2日	第5回運営会議
3月9日	第8回理事会
3月11日	あびこ助産師専門学校卒業式
3月11日	第1回千葉県周産期医療審議会
3月13日	千葉県立保健医療大学卒業式
3月17日	第46号 大潮の発送
3月21日	公益社団法人日本助産師会 第3回都道府県助産師会代表者会議

9. 令和6年度 メーリングリスト配信状況

年	月	内 容
R6	4	<p>大人が学ぶ包括的性教育「親・支援者が学ぶ子どもの性教育」のご案内</p> <p>【事務連絡】訪問診療等に使用する車両に係る駐車許可の周知について(依頼)</p> <p>インボイス制度及び軽減税率制度に関する周知等について(協力依頼)</p> <p>期日延期【お願い】日本看護協会より:「分娩取扱施設における災害発生時の対応マニュアル作成ガイド」改訂について</p> <p>千葉県保健医療計画(周産期医療)について</p> <p>千葉県助産師会ホームページでの助産所紹介ページ掲載について</p> <p>【ご協力のお願い】助産業務ガイドライン2024改訂案:パブリックコメントを募集します。</p> <p>第42回千葉県母性衛生学会学術集会開催のご案内</p> <p>第22回日本生殖看護学会学術集会のご案内</p> <p>堤式オンデマンド特別セミナー開催のご案内</p>
	5	<p>第20回国際助産師の日のつどいin木更津についてのお知らせ</p> <p>千葉県助産師会 助産所部会研修会のご案内</p> <p>《保健指導部会メーリングリスト》令和6年度保健指導部会交流会のご案内</p> <p>令和6年度保健指導部会交流会のご案内</p> <p>【再送】5/30千葉県助産師会 助産所部会研修会のご案内</p> <p>★教育委員会主催 研修「2024年6月30日NCPR講習Sコース」</p> <p>生と性の健康教育委員会 交流会のお知らせ</p> <p>【通知】NIPTの臨床研究における課題と対応(見解)</p> <p>【再送】第20回国際助産師の日のつどいin木更津についてのお知らせ</p> <p>【重要】【事務連絡】訪問看護ステーション「訪問看護管理療養費1又は2」に係る届出について</p> <p>【ご連絡】分娩取扱施設情報提供ウェブサイト「出産ナビ」公開のご報告</p> <p>【通知】令和6年度版「医療機関におけるサイバーセキュリティ対策チェックリスト」の発出について</p> <p>【局長通知】「出産育児一時金等の支給申請及び支払方法について」の一部改正について</p>
	6	<p>【事務連絡】受取代理制度導入届提出施設一覧の送付について</p> <p>【議事録確定】第1回代表者会議議事録</p> <p>安全対策委員会研修会お知らせ</p> <p>南北関東地区研修会のお知らせ</p> <p>令和6年度母子保健指導者研修会の開催について</p> <p>STI研究会のチラシ</p> <p>【事務連絡】令和6年度院内感染対策講習会について</p> <p>【通知】「再生医療等の安全性の確保等に関する法律及び臨床研究法の一部を改正する法律」の公布について</p> <p>一般財団法人日本助産評価機構【研修情報修正】必須研修のご案内(20240601)について</p> <p>いいお産の日イベント周知のお知らせ</p> <p>日本助産師会より会員の皆さまに、お願いとご案内です</p> <p>【情報提供】令和5年度母子保健医療対策総合支援事業(令和5年度補正予算)に係るQAの改正について</p> <p>【事務連絡】「令和6年度価格転嫁円滑化の取組に関する特別調査」への協力依頼について</p> <p>千葉県アレルギー疾患対策研修会</p> <p>【事務連絡】フリーランス・事業者間取引適正化等法の施行に向けた周知について(協力依頼)</p> <p>【情報提供】新生児マスキング検査に関する実証事業に係る外部精度管理の要件化について</p> <p>【情報提供】令和5年度補正予算分実施要綱の改正、令和6年度(令和5年度からの繰越分)交付要綱の発出について</p> <p>【通知】医療事故情報収集等事業第77回報告書及び2023年年報の公表について</p>
	7	<p>【通知】令和7年度「こどももんなか 児童福祉週間」の標語募集について</p> <p>いいお産の日開催のお知らせ</p> <p>事例検討会のご案内</p> <p>教育委員会主催 2024年9月15日 研修「DVに悩む女性への支援 -DV被害の現状とDV被害を見つけたら-」</p> <p>[産後ケア実施施設・助産所]アンケート依頼</p> <p>北村メンタルヘルス学術振興財団からのお知らせです</p> <p>助産師業務安全管理評価表に関するお知らせ</p> <p>訃報のお知らせ</p> <p>【事務連絡】新生児聴覚検査費に係る受検者の経済的負担の軽減について</p> <p>【日本助産師会】妊娠・出産・産後における妊産婦等の支援等に関する検討会開催のご案内</p>
	8	<p>【事務連絡】医療機関等におけるサイバーセキュリティ対策の取組みについて</p> <p>【千葉県 医療整備課】令和5年度第2回医療機関等物価高騰対策支援事業(給付金)の実施について</p> <p>令和6年度第3回第4回母子保健指導者研修会の開催について</p> <p>【ご案内】(一般社団法人GENCOURAGE)ジェンダー平等な未来を拓く次世代のサードプレイス『ジェンカレ』</p> <p>【ご案内】新生児蘇生に関するアンケートについて</p> <p>災害連携集会2024開催について テーマ「令和6 年能登半島地震の対応から災害時の対策を考える」</p> <p>【健やか親子21 全国大会】開催のご案内及び関係者等への周知について</p> <p>【再送】災害連携集会2024開催について テーマ「令和6 年能登半島地震の対応から災害時の対策を考える」</p> <p>日向灘沖地震の報告です。</p> <p>第3回「妊娠・出産・産後における妊産婦等の支援策等に関する検討会」の開催について</p> <p>エイズ情報誌(STOP AIDS No.93 について</p> <p>堤式オンデマンド特別セミナー開催のお知らせ</p> <p>【通知(内閣府)】令和6年度「女性に対する暴力をなくす運動」実施要綱の決定・送付について</p> <p>【事務連絡】個人防護具の国備蓄品の売却について</p> <p>災害連携集会2024開催について テーマ「令和6 年能登半島地震の対応から災害時の対策を考える」</p> <p>スキルアップ研修のご案内【基礎編Ⅰ(9/4)】、【基礎編Ⅱ(9/25)】申し込みについて</p>

年	月	内 容
R6	10	<p>【事務連絡】「医療デジタルデータのAI 研究開発等への利活用に係るガイドライン」について 保健医療従事者等研修会のお知らせ 【再送】【事務連絡】「医療デジタルデータのAI 研究開発等への利活用に係るガイドライン」について 【ご案内】2024年度不妊症・不育症ピアサポーター等の養成研修 【情報提供】『出産ナビ』の周知広報への御協力について（依頼） 2024年11月23日 母体救命救急講習（J-CIMELS公認講習会）受付締切延長のお知らせ（10/4→10/25） 【通知】令和6年度「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」の実施について（協力依頼） 日本家族計画協会主催セミナーほかご案内 理事改選候補者推薦のお願い 【千葉県市長会・千葉県町村会】令和7年度妊婦一般健康診査に係る情報提供について 医療安全大会 【千葉県 医療整備課】【通知】個人防護具の配布の実施について 【SIP-C1イベント】菊池亜美さんゲスト:オンラインイベント告知のお願い 【至急】千葉県助産師会ホームページ助産所紹介欄の更新について 【事務連絡】乳幼児のマイナンバーカードの取得に係る出生届様式との一体化につきまして 保健指導部会交流会の案内配信のお願い 【事務連絡】フリーランス法説明会開催・フリーランス・事業者間取引適正化等法の遵守徹底について 【情報提供】【通知】「産前・産後サポート事業ガイドライン及び産後ケア事業ガイドライン」の改定について 【情報共有】出産ナビ掲載施設の状況について 【再送】勤務部会研修会のお知らせ</p>
	11	<p>2024年12月5日（木）子育て親子をつなぎ、地域ぐるみの子育て「とも育て」に関するシンポジウム開催のご案内 日本看護協会からの「助産師活動をPR する動画」が届きましたので情報提供いたします。 ※注意【11/4本日受付締切】研修会お知らせ 第2回助産所部会集會のご案内（所属部会に関わらずどなたでもご参加いただけます） 助産師研修・資料提供のご案内【NPO法人赤ちゃんの眠り研究所】 （お知らせ）【千葉県児童家庭課】令和6年度医療機関等に対する児童虐待対応研修について 「第12回 千葉母乳育児支援学習会」のお知らせ 2024.11.17の理事会で承認を得られた研修会紹介 【千葉県 医療整備課】「医療安全推進週間」の取組について 岡山大学リカレント教育プログラム 2025年度受講生募集の案内について 【情報共有】産後ケア施設における乳幼児安全対応マニュアルと動画資料について 【情報共有】マタニティマーク公式サイトリニューアル＆多胎児データの誕生について 市川浦安地区研修会のご案内です 子育て委員会・7地区（千葉）「事例検討会のご案内」 【情報共有】エビデンスに基づく助産ガイドライン-妊娠期・分娩期・産褥期2024について 【情報共有】アメリカ小児科学会のガイドラインのモニターに関する記載について 子育て委員会・第2回事例検討会のご案内 千葉県助産師会無料電話相談ミッドワイフ千葉Zoom研修 【通知】医療事故の再発防止に向けた警鐘レポートNo.1の公表について</p>
	12	<p>【情報提供】令和6年度補正予算案（母子保健対策関係）について 安全対策委員会より 研修会のお知らせ。 【千葉県 医療整備課】【依頼】令和6年度業務従事者届（看護職員、歯科衛生士及び歯科技工士）について 教育委員会主催 研修「2025年2月2日NCPR講習Sコース」のお知らせ 【日本助産師会】第6回「妊娠・出産・産後における妊産婦等の支援策等に関する検討会」の開催について 母体保護法施行規則の一部を改正する内閣府令の公布について 【情報提供】令和6年度補正予算（母子保健対策関係）について 【子育て委員会より】令和7年度 電話相談員募集開始のお知らせ 【局長通知】「出産育児一時金等の支給申請及び支払方法について」の一部改正について 【情報共有】RSウイルスワクチンの妊婦への周知用資材について あからば支援者通信【1月講座・乳幼児睡眠アドバイザー養成講座および単発受講講座のご案内】 （教育委員会より再送）【2025年2月2日 NCPR（Sコース）講習】 【通知】医療事故情報収集等事業第79回報告書の公表について 【情報提供】令和7年度予算案（母子保健対策関係）について 【通知】「新生児聴覚検査の実施について」の一部改正について</p>
R7	1	<p>事務より報告事項 「1%の風景」上映会のご案内 【情報提供】【事務連絡】「1か月児健康診査マニュアル」について 【ご案内】こども家庭庁シンポジウムについて （教育委員会）ML掲載依頼 募集停止依頼（2025年2月2日NCPR講習Sコース）</p>

10. 千葉県助産師会事業部実績報告（令和6年1月～12月）

【委託事業実績（出産前教室委託事業）】

事業名	実施回数（回）
スタジオアリス マタニティセミナー	13
我孫子市 「しあわせママパパ学級」	36

【訪問型産後ケア市町村別実績】

市町村名	訪問回数（回）
松戸市	35
野田市	25
柏市	72
市川市	209
船橋市	98
鎌ヶ谷市	7
八千代市	28
習志野市	80
市原市	58
木更津市	77
袖ヶ浦市	47
君津市	55
富津市	29
合計	820

11. 令和6年度 千葉県助産師会事業への協力

地区	助産師の電話無料相談 相談員数（名）	国際助産師の日
柏・野田・我孫子・流山・松戸	4	各地区活動紹介の協力 地域住民との交流 講演会・座談会の実施
市川・浦安	2	
船橋	2	
習志野・八千代・鎌ヶ谷	1	
印旛	0	
香取・海匝・山武	3	
千葉	7	
長生・夷隅	0	
市原・君津・安房	7	
合計	26	

12. 資料・主な統計

1. 研修会実績報告
2. 助産師の電話無料相談統計
3. 健康教育活動報告
4. 生と性の健康教育活動実績
5. 助産所分娩数（自宅分娩を含む）
6. 災害対策活動報告
7. 「国際助産師の日」のつどい報告
8. 要望書

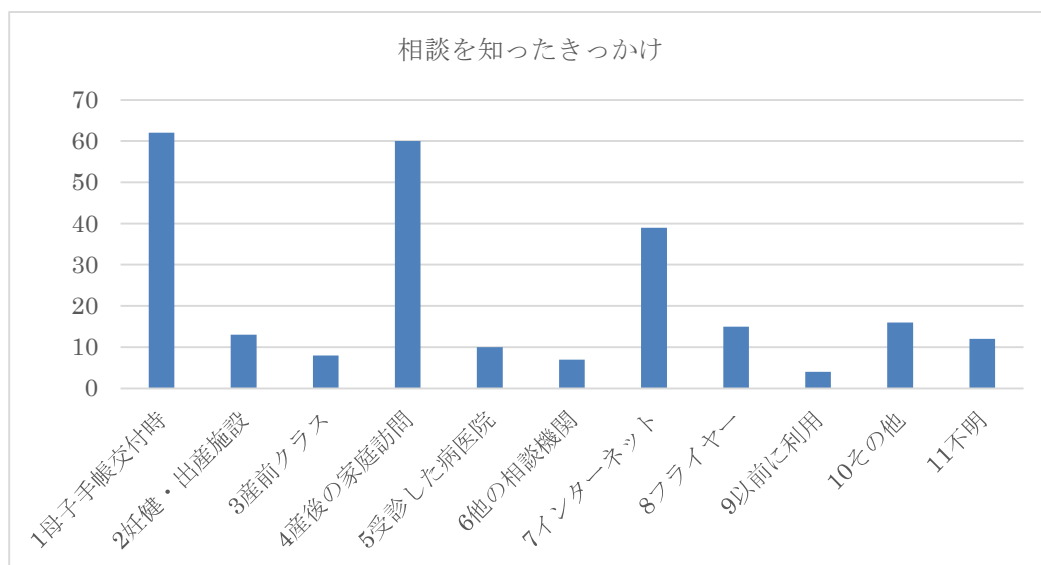
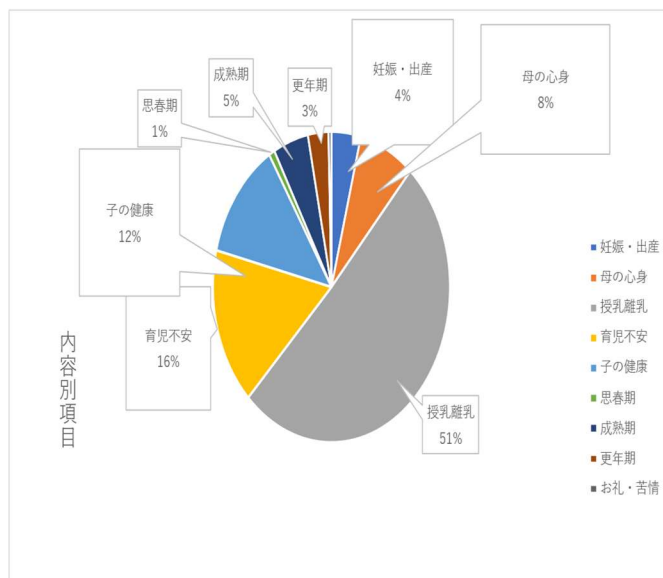
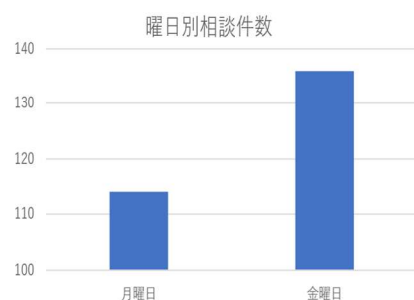
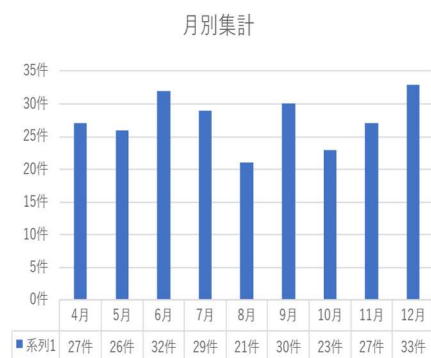
1. 令和6年度 研修会実績報告

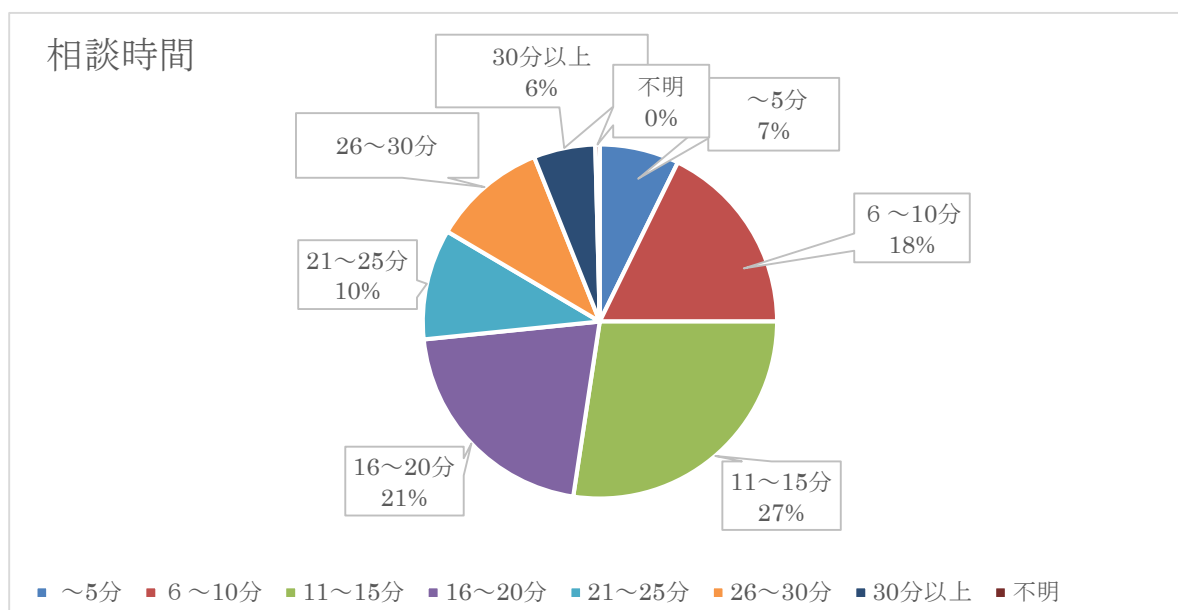
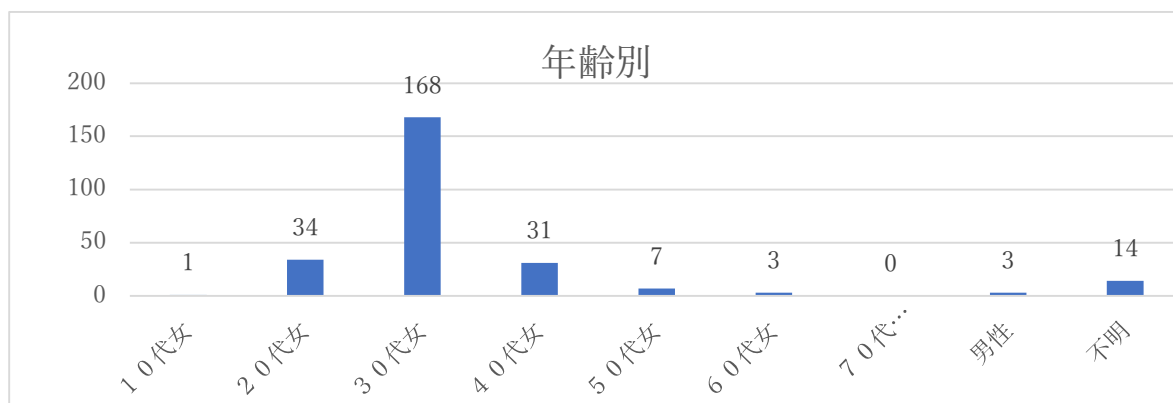
研修会名	研修内容	講師	開催日時	開催方法	受講者数
【教育委員会】 地区報告会	各地区の実践報告	5, 6, 7, 9 地区	7月	送付	
【助産所部会】 「分娩室でのリラクゼーションとフリースタイル出産」「妊娠中から身体を整えるための骨盤ケア〔初級編〕」	自然分娩の周知を目指す	キミツナカノ助産院 小柴 和子 先生 あびこ助産院 米丸 充咲 先生	5月30日 (木)	対面	会員10名 非会員7名
【教育委員会】 NCPR Sコース	NCPRスキルアップ認定講習	成田赤十字病院 伊能 小百合先生	6月30日 (日)	対面	会員 6名 非会員 2名
【保健指導部会】 令和6年度保健指導部会交流「機中八策」	育児不安を抱える母親支援に役立つ子どもとのコミュニケーションスキル【機中八策】を学ぶ	千葉中央児童相談所 渡邊 直 先生	6月30日 (日)	対面	会員 25名 非会員 6名
【生と性の健康教育委員会】 「いのちと性に関するお気に入りの一冊を持ち寄って」	いのちと性に関する研修会	生と性の健康教育委員会	7月7日 (日)	対面	会員 20名
【子育て委員会】 交流研修・事例検討会	交流研修会 「電話相談とは」	子育て委員	7月19日 (金)	ZOOM	会員 24名
【安全対策委員会】 産後ケアの安全対策	産後ケアガイドライン2023 から学ぶ	世田谷区立産後ケアセンター 永森美子 先生	7月21日 (日)	対面	会員 30名 非会員 1名
【教育委員会】 周産期のメンタルヘルス支援	DVに悩む女性への支援ーDV被害の現状とDV被害を見つけたらー	秀明大学 三隅順子先生	9月15日 (土)	ZOOM	会員 19名
【安全対策委員会】 産科救急の実践	産科救急 動画講義	船橋中央病院 淀川 祐紀 先生	10月27日 (日)	ZOOM	会員 24名 非会員 2名 学生 2名
【教育委員会】 J-CMELS ベーシックコース	J-CMELSベーシックコース	レディースホーム やわた計良和範先生 太田 裕穂 先生	11月23日 (土)	対面	会員 2名 非会員 4名
【子育て委員会】 交流研修・事例検討会	交流研修会「傾聴とは」	子育て委員	11月29日 (金)	ZOOM	会員 35名
【保健指導部会】 保健指導部会交流会 「最近の母乳あるあるを語りませんか」	産後ケアで対応に苦慮した症例検討・安全な添い寝授乳について	保健指導部会員	12月1日 (日)	対面	会員 19名
【勤務助産師部会】 安全な無痛分娩のための知識	安全な無痛分娩を行うための知識を深め、日々の助産業務に役立てる	成田赤十字病院 海野 洋一 先生 神奈川県立保健福祉大学看護学科 田辺 けい子 先生	12月15日 (日)	ZOOM	会員 25名 非会員 1名 学生 3名
【安全対策委員会】 インシデント・アクシデント報告から学ぶ	インシデント事例グループワーク	会員	1月26日 (日)	対面	会員 17名
【勤務助産師部会】 胎児エコー研修会	胎児エコーの基礎的技術を理解し日々の助産業務に役立てる	前田産婦人科 紺野彩子先生 山王看護専門学校 山田初美先生	2月2日 (日)	対面	会員 6名 非会員 4名
【教育委員会】 NCPR Sコース	NCPRスキルアップ認定講習	成田赤十字病院 伊能 小百合先生	2月2日 (日)	対面	会員 4名 非会員 3名

2. 助産師の電話無料相談 統計(令和6年4~12月)

【自 令和6年4月1日~令和6年12月】

相談件数(電話相談件数)





今年度より、月曜日、金曜日の週2回の相談となった。月平均30件、4～12月の件数は248件であった。相談者の内容別項目で51%と約半数を占めていたのは、授乳・離乳の項目で、続いて育児不安が16%、子の健康が12%であった。相談者の年齢は30代が62.8%を占めており子育て世代のニーズが高いことを示している。一方で、成熟期、更年期などの相談も3%程度あり、幅広い世代からの需要もある。

本相談によって「相談者の納得を得られた」と判断した件数は95%を超える結果となっており、相談内容がしっかりと理解され、適切なアドバイスやサポートが提供されていると考える

3. 健康教育活動報告 (令和6年1~12月)

1. 実施回数										
●対象者		1地区	2地区	3地区	4地区	5地区	6地区	7地区	9地区	合計
就学前		1	0	0	3	0	0	0	0	4
小学校		59	27	0	65	11	7	28	9	206
中学校		36	17	58	9	22	4	45	7	198
高等学校		2	0	1	6	2	1	1	2	15
特別支援学校	小学部	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	中学部	0	3	0	0	0	0	0	0	3
	高等部	3	0	0	0	0	0	0	0	3
PTA・保護者		3	3	0	14	1	1	3	2	27
大学・専門学校		0	0	0	0	0	0	14	1	15
社会人		0	0	0	2	0	0	0	1	3
教員		0	0	0	1	0	0	2	2	5
その他	公民館・女性センター等	1	0	0	9	0	0	4	1	15
	保健師など専門職	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	その他	0	1	2	9	0	0	7	0	19
合計		105	52	61	120	36	13	104	25	516
2. 依頼者										
●依頼者		1地区	2地区	3地区	4地区	5地区	6地区	7地区	9地区	合計
学校・幼稚園・保育園		82	43	0	91	18	5	54	13	306
PTA・保護者		8	8	0	6		4	6	2	33
市町村等行政団体 (保健所・保健センター等)		13	0	22	1	1	4	1	8	51
その他	教育委員会	0	1	0	0	17	0	30	1	49
	NPO法人	1	0	0	2	0	0	0	0	2
	不登校親の会・フリースクール	0	0	0	6	0	0	0	0	6
	公民館	1	0	0	10	0	0	4	0	15
	児童養護施設	0	0	0	4	0	0	0	0	4
	地区助産師会	0	0	2	0	0	0	7	0	9
	看護協会	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	家庭科教員研修	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合計		105	52	24	120	36	13	104	25	478
延べ人数										
●対象者		1地区	2地区	3地区	4地区	5地区	6地区	7地区	9地区	合計
就学前		2	0	0	38	0	0	0	0	40
小学校	1年生	0	0	0	0	0	0	12	0	12
	2年生	180	263	0	73	0	0	2	0	518
	3年生	78	0	0	61	0	0	76	42	257
	4年生	1064	0	1	364	35	0	243	185	1892
	5年生	1193	1860	1	4721	0	157	678	135	8745
	6年生	2067	311	3	1407	551	87	808	64	5298
中学校	1年生	1438	446	0	852	0	0	0	0	2736
	2年生	306	1589	686	635	47	91	1075	238	4667
	3年生	3083	626	2691	1020	2633	202	3431	764	14450
高等学校	1年生	152	0	396	1826	710	0	237	257	3578
	2年生	317	0	0	0	0	0	0	116	433
	3年生	0	0	0	0	0	0	0	86	86
特別支援学校	小学部	0	9	0	0	0	0	0	0	9
	中学部	0	26	0	0	0	0	0	0	26
	高等部	159	0	0	0	0	0	0	0	159
PTA・保護者		980	376	9	1648	96	0	173	67	3349
大学生・専門学校生		0	0	0	0	0	0	60	218	278
社会人		0	0	0	47	0	0	0	25	72
教員		745	203	198	772	0	0	164	134	2216
その他	公民館・女性センター	23	0	0	99	0	0	70	9	201
	保健師など専門職	0	0	6	29	0	0	75	0	110
	その他	0	40	122	81	0	35	27	0	305
合計		11787	5749	4113	13673	4072	572	7131	2340	49437

注)実施件数と依頼者数に違いがあることについては実績報告内で理由を述べる。

4. 生と性の健康教育活動実績（令和6年1月～12月）

1. 登録講師

千葉県助産師会登録講師は46名、メンバーは入れ替わっているが、総数は昨年度より2人増加した。【表1】（令和7年1月時点）

2. 生と性の健康教育件数 【表2】

1) 講演回数は、総数 516 回

そのうち小学校が206回で最も多く、次いで中学校の198回である。

2) 講演参加者総数 49,437 人であった。

3) 千葉県助産師会のホームページの講師依頼の申し込みフォームの件数は46件であった。その中には、既に講師と連絡を取り合っているというものもあり、多くは地域で築いてきた信頼関係の中で、助産師個人に直接依頼があったことがうかがわれる。

令和6年は前年に比べ、小学校での開催が40回増となっている。助産師が行う授業を経験した教師が他市に転任し、その転任先で広がった地区、行政への要望が実り市内の全ての小学校で開催する予算を取ってくれた地区があったことによる。

文部科学省の「生命の安全教育」が提唱され、保護者や教員など大人の生と性の健康教育への関心が高まっていることも依頼の増加に繋がっていると考えられる。その依頼に対応すべく、当委員会では引き続き講師の研鑽を推し進めている。

※ 3地区の健康教育活動報告において実施数と依頼者数が違うことについては、下記の理由による。

- ・実習が伴う講座のため、クラス単位で実施している。
- ・1回の依頼につき複数クラスの講座を開催する。

例えば1校の依頼で2クラス～9クラス（2時間～9時間）を1～3日かけて実施している。

【表1】登録講師数

【表2】実施回数と参加者数

地区名	講師数		回数			参加者数		
			令和4年	令和5年	令和6年	令和4年	令和5年	令和6年
1地区	4							
2地区	4	就学前	1	1	4	10	17	40
3地区	4	小学校	179	166	206	12869	12601	16722
4地区	5	中学校	179	196	198	19388	21795	21853
5地区	12	高等学校	13	11	15	2549	2377	4097
6地区	3	特別支援学校	6	7	7	215	146	194
7地区	7	大学生他	30	9	15	498	212	278
9地区	7	PTA・保護者	29	47	27	2361	3333	3349
その他	0	社会人他	79	60	44	2738	2517	2904
合計	46		516	497	516	40628	42998	49437

5. 助産所分娩数 （令和6年1月～12月）

月	助産所	自宅	合計
1月	4	2	6
2月	5	1	6
3月	7	1	8
4月	3	0	3
5月	11	1	12
6月	2	0	2
7月	4	2	6
8月	6	1	7
9月	9	1	10
10月	7	0	7
11月	5	0	5
12月	3	1	4
合計	66	10	76

6. 令和6年度 災害対策活動報告

〈九都県市合同防災訓練〉

5/9～6/7	第1回全体会議：YouTube 配信	金子
6/18	部門別調整会議(避難所運営訓練①)：いすみ市	金子
9/4	部門別調整会議(防災フェア①)：いすみ市	鈴木
9/20	第3回全体会議：いすみ市	金子
10/20	第4・5回千葉県九都県市合同防災訓練 防災フェア：いすみ市役所 避難所運営訓練：大原中学校 〈DMAT・DWAT・JRAT・助産師会〉 専門職団体4チームで活動	志村、清水、西宮、 鈴木、進藤延、塩見、 小野(6)、志賀、小 柴(9)、進藤典(9) 吉田(9) 金子、

〈災害時初動シミュレーション訓練〉

11/18	事務所：進藤、西宮、鈴木、塩見、稲葉、金子真 オンライン：志村、清水、根岸、足立、島岡、水野、伊東、金子美、志賀
-------	---

〈地区活動〉

地区	協定市 14市 (令和7年1月現在)	防災訓練参加	その他 会議など
1地区	柏市 松戸市	10/14 流山市 11/9 松戸市	9/19 松戸市 11/14 柏市
2地区	浦安市		2/25 浦安市
3地区	船橋市		1/20 船橋市
4地区	習志野市	11/24 習志野市	10/22 習志野市
5地区	佐倉市 印西市 八街市 成田市 白井市	10/13 佐倉市 10/27 印西市 11/30 成田市 2/2 白井市	8/2 白井市協定締結式 志村、根岸、根本、西宮、徳永、 金子 10/2 印西市 1/9 白井市 8/29 10/29 成田市
6・8地区	山武市 東金市	10/20 いすみ市 九都県市合同防災訓練	11/19 東金市 12/6 山武市
7地区	千葉市	8/28 千葉市 (救護所開設訓練)	
9地区	木更津市	11/3 市原市	

〈研修会〉

5/18	日本助産師会学会 ポスターセッション発表 「災害時初動シミュレーション訓練から広がった 災害支援活動」	西宮、鈴木、塩見、金子
10/12	日本助産師会災害対策委員会連携集会	志村、清水、根岸、進藤、西宮、 水野、稲葉、金子
10/6 2/11	千葉県災害時小児周産期リエゾン対応研修会 基礎編	塩見 10/6 2/11 西宮、金子 10/6 志賀 2/11

7. 令和6年度「国際助産師の日」のつどい報告

9 地区 国際助産師の日実行委員長 久保幸代

企画・運営担当地区：第9地区（市原・君津・安房地区）

日時：2024年6月22日（土）10時～16時

会場：木更津市民総合福祉会館

共催：木更津市

後援：千葉県、木更津市、市原市、鴨川市、君津市、袖ヶ浦市、館山市、南房総市、
富津市、千葉県医師会、千葉県産科婦人科医学会、千葉県小児科医会、
千葉県看護協会、日本助産師会

実施内容：10:00～12:00 ・助産師によるハンドマッサージ・ベビーマッサージ・
相談コーナー

13:30～14:30 ・講演会 「子育てを大切にする社会の実現」
川島広江氏（川島助産院院長）

14:40～15:50 ・座談会 「みんなで語ろう子育ての今」
子育て中の母親・父親5名

参加人数：ベビーマッサージ 5名 ハンドマッサージ 22名 相談コーナー14名
講演会・座談会 80名

コロナ感染症が5類となった昨今ではあるが、近くに子育て支援者のいない状況により子育てをする母親や家族の孤立は続いている。今回、子育てをしている女性とその家族とともに身近な支援者や同じ状況の方々と語り合う場にしたいと考えた。今回のテーマは「みんなで支えあおう未来の子どもたち」として、木更津市と共催という形での開催となった。テーマのとおり助産師だけではなく、子育て中のご家族や保健師、木更津市の職員、学生など様々な立場の方々の参加があった。

助産師による相談コーナーには子育て中のご家族が相談にいらしたり、家族同士で子育ての話をしたりと交流がみられていた。また、川島広江氏による「子育てを大切にする社会の実現」をテーマにした講演会では、子どもの未来に向けた思春期教育の重要性などを聞くことができた。最後の座談会「みんなで語ろう子育ての今」では、5名の母親・父親が子育てのエピソードと子育てにかかわる人々へのメッセージを話してくださった。子育てについての様々な考え方や体験、さらに大変な中でも周囲と協力し合い子どもとのかかわりを前向きに捉えていることなど多様な子育ての実際を知る機会となった。

参加者のアンケートでは、今回の講演会・座談会に対し「大変良かった」25%「良かった」75%という回答が得られ、来場された方々の満足につながったといえる。そして、様々な立場の方々に支えあう子育てについて考える機会になったと感じている。

8. 要望書

千助第06044号

令和6年8月27日

千葉県知事
熊谷 俊人 様

一般社団法人千葉県助産師会
会長 志村 千鶴子

令和7年度予算に関する要望書

一般社団法人千葉県助産師会は、助産師の職能団体として、次世代を担う子どもたちを安心して生み育てられる社会を目指し、妊娠・出産・育児の支援を行っております。

千葉県に在住するすべての子育て世代の負担を軽減し、切れ目ない妊産婦への支援および災害時の母子支援の提供体制が推進されますよう、以下の要望をいたします。

要 望 事 項

1. 出産費用（正常分娩）の保険適用化を視野に入れた保険指定医療機関としての助産所の位置づけと環境整備
2. 産後ケア事業の拡充に向けた制度・予算
 - 1) 希望するすべての利用者（産後の母子）が産後ケアを受けることができるために産後ケア事業における地域格差の軽減及び助産所の活用に向けた支援を図られたい。
 - 2) 産後ケア事業の安全対策強化のために、必要な設備・医療機器の補助や体制整備の助成を図られたい。
3. 災害時の母子支援のための防災対策
 - 1) 災害時の母子支援を推進するために、助産所を包含した体制で災害医療救護計画におけるネットワーク整備を図られたい。
 - 2) 被災時の母子支援のために、千葉県内全域に災害時母子福祉避難所の設置を図られたい。
 - 3) 防災行政における災害時の母子支援の拡充のために、千葉県防災会議への本会の参画を図られたい。
4. 妊娠・出産・育児の不安軽減のために、助産師の専門性を活用した電話無料相談の公的支援体制に対する財政上の措置を図られたい。
5. 成長発達段階に応じた次世代育成のための包括的性教育の推進を図られたい。
6. 施設による区別なく千葉県内の全施設において妊産婦健康診査受診票が利用できるための公費負担制度の整備を図られたい。

7. 助産師活用推進事業の一環として、助産学生の臨地実習施設の整備を図られたい。

要 望 理 由

1. 出産費用（正常分娩）の保険適用化を視野に入れた保険指定医療機関としての助産所の位置づけと環境整備

厚生労働省は出産費用を見える化する施策を踏まえて、2026 年度を目処に出産費用（正常分娩）の保険適用導入について検討しています。この保険適用化は、全国一律の診療報酬での評価により、選択の幅が狭まるという懸念があります。

そのため、出産費用が保険適用化された場合、正常分娩を取り扱う助産所が保険指定医療機関として位置づけられ、妊産婦が費用やサービスを踏まえて助産所を含む医療機関を適切に選択できるための環境整備をお願いしたい。

2. 産後ケア事業の拡充に向けた制度・予算

1) 希望をするすべての利用者（産後の母子）が産後ケアを受けることができるために、産後ケア事業における地域格差の軽減および助産所の活用に向けた支援を図られたい。

令和 3 年 4 月から産後ケア事業は母子保健法に位置づけられ、ハイリスク母子を対象としていた事業は希望する全ての母親が対象となり、実施は市区町村の努力義務となっています。しかし、市町村行政の子育て支援に対する財政には偏りがあり、産後ケアを希望しても受けられず、産前産後に育児不安を抱える妊産婦の現状は改善されていません。そのためには、妊産婦が希望するサービスをより柔軟に受けられるように、今後も広く社会や地域の市区町村の行政機関に周知していく必要があります。そして、社会全体が産後ケア事業の重要性を理解し、妊産婦がより利用しやすいシステムを導入することで、産後ケアの利用がより促進されと考えます。

また、切れ目ない妊産婦への支援がより求められている現状において、産後ケアや継続的支援が提供可能な施設として、助産所の活用を推進する必要があると考えます。産後ケア事業を持続可能な事業としていくためにも、県域における地域格差の軽減および利用しやすいサービス導入の推進、さらに助産所の活用に向けた財政上の支援と調整をお願いしたい。

2) 産後ケア事業の安全対策強化のために、必要な設備・医療機器の補助や体制整備の助成を図られたい。

産後ケア事業は、ショートステイ型、デイサービス型、アウトリーチ型のいずれの場合においても、母子の安全面や衛生面に十分配慮してケア提供を行っています。しかし、一昨年、他県で産後ケアにおいて事故が発生したことを踏まえ、産後ケア利用中の事故を未然に防ぐための安全対策をより一層強化する必要があります。本会では、産後ケア事業の実施に際し、安全管理マニュアルの周知徹底や実施状況の把握・監督に取り組んでいます。

さらに、母子の安全・安心を保障することができるために、産後ケア事業を受託する助産所および診療所の施設設備や医療機器の補助、雇用を含む体制整備に対する財政的支援をお願いしたい。

3. 災害時の母子支援のための防災対策

1) 災害時の母子支援を推進するために、助産所を包含した体制で災害医療救護計画におけるネットワーク整備を図られたい。

有床助産所においては、広域災害・救急医療情報システム（EMIS）に登録されていますが、災害時の母子支援の推進のために災害医療救護計画において、さらなる連携・協働が円滑に進むよう、ネットワークの整備をお願いしたい。

2) 被災時の母子支援のために、千葉県内全域に災害時母子福祉避難所の設置を図られたい。

被災時の母子は要配慮者である反面、避難所での授乳や子どもの泣き声等による周囲への配慮から、避難所を避ける傾向があります。また、妊産婦は少人数であるため避難所で災害弱者として声を上げにくいことが想定され、特別な配慮がされないまま我慢を強いられる現状が考えられます。このような状況から、支援が必要な妊産婦や母子の把握がより困難になることが考えられます。

そのため、県内全域に母子福祉避難所の設置を推進し、災害時には速やかに母子が避難できる場所と体制の整備をお願いしたい。

3) 防災行政における災害時の母子支援の拡充のために、千葉県防災会議への本会の参画を図られたい。

災害時の母子支援のために、本会は県内の市区町村との間で「助産師による災害時の母子支援に関する協定」の締結を推進し、現在 14 市区町村と協定締結を行っています。各市区町村の特徴に応じた災害時の母子支援をするために、今後も全県域の市区町村との協定締結に取り組み、併せて隣接地域と連携した支援体制を構築する必要があると考えています。

そのため、県域の災害時母子支援が円滑に行われるために、千葉県防災会議の構成員として本会が参画することにより、さらなる母子への支援体制の連携強化を図れるようお願いしたい。

4. 妊娠・出産・育児の不安軽減のために、助産師の専門性を活用した電話無料相談の公的支援体制に対する財政上の措置を図られたい。

本会が平成 18 年度から実施している助産師による電話無料相談は、新型コロナウイルス感染症が流行した 3 年間を含めて、妊娠・出産、授乳や離乳、育児不安、子どもの成長発達などの相談窓口として大変重要視され、相談件数は年間約 1,000 件に上る多くの実績を保持してきました。また、災害時においても、避難所等の情報提供や妊産婦の相談窓口として活用されてきました。さらに、助産師による電話無料相談は、虐待予防の観点からも有意義な活動であると考えます。

毎年、電話相談の質向上のために、相談事例に関する研修会や電話相談員育成のための研修会の開催が必須となっています。本会の助産師による電話無料相談は、現在まで独自で運営してきましたが、無償での活動であることから相談員の負担が増強し、本年度からやむなく相談日数を週 5 回から 2 回に変更し、活動内容を縮小せざるを得ない状況となっています。そのため、安定した運営費の確保や相談員となる助産師の育成と確保が求められます。

県内の妊産婦からの電話相談を今後も継続して受け、妊産婦への切れ目ない支援を拡充していくために、千葉県の委託事業として助産師による電話無料相談が実施可能となるよう財政的支援をお願いしたい。

5. 成長発達段階に応じた次世代育成のための包括的性教育の推進を図られたい。

現在、性教育をすすめていく上での手引き書として、国際セクシャリティ教育ガイダンス改訂版（2020 年）が示されています。日本でも、セクシャリティ教育を人権、ジェンダー平等という枠組みの中で再認識し、若者にとっての利益が最大となる「性と人間関係」についての包括的な学びが求められています。

また、「健やか親子 21（第 2 次）」の中間評価等に関する検討会報告では、学童期・思春期から成人期に向けた保健対策において、特に十代の性に関する課題、食生活等の生活習慣に関する課題について更なる取り組みの必要性が指摘されています。そのためには、性の健康に関する正しい知識を身につけることの重要性が強調されています。

そこで、本会では千葉県内の小中学校を中心に 46 名の助産師を専門講師として派遣し、「生と性の健康教育講座」を実施してきました。令和 5 年度は、実施数 497 箇所、参加者 42,998 名となり、年々増加しています。本会が実施する成長発達段階に応じた包括的性教育の効果として、いのちや子ども産み育てることへのイメージが具体化し、自分の生活や将来のキャリア形成、家族との関係づくり等を考える良い機会になっていることが示されています。

そのため、成長発達段階に応じた包括的性教育の一環として、本会の「生と性の健康教育講座」実施について、市区町村の行政機関や教育機関等への周知と支援をお願いしたい。

6. 施設による区別なく千葉県内の全施設において妊産婦健康診査受診票が利用できるための公費負担制度の整備を図られたい。

妊婦健康診査受診時に使用する妊婦健康診査受診券（14 回分）は、県内において助産所で使用不可の利用券（2 回分）があります。また、無床助産所においては、さらに使用不可の利用券が 4 回分となっています。そのため、妊産婦への不利益が生じないように、施設や有床・無床による区別なく妊婦健康診査受診券が全て利用できるよう、妊婦健康診査の公的負担制度の整備をお願いしたい。

7. 助産師活用推進事業の一環として、助産学生の臨地実習施設確保の助成を図られたい。

助産学生の養成は将来の助産師の確保に繋がり、国が提示している助産師活用推進事業の一環として重要です。産科医療機関で実習を行う助産学生は、分娩件数の減少に相反し、ハイリスク妊産婦が増加傾向にあるため、正常分娩の介助経験をもつことが困難な実習環境に置かれ、実習施設確保の課題は継続しています。特に正常分娩を取り扱う有床助産所は開設数が少ないため、臨地実習を依頼することが難しい状況にあります。そのため、助産学生の臨地実習施設の確保に向けて、実習受け入れ施設に対する助成等の財政的支援をお願いしたい。

以上